Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

鎌ケ谷市国際交流協会広報誌

第58号

2007年（平成19年）11月18日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ケ谷市初富928-744
TEL　047-445-1141（内550）
FAX　047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

設立20周年記念号

CONTENTS

ごあいさつ　鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）会長　酒井哲郎……2
おめでとう　鎌ケ谷市長　清水聖士……3
鎌ケ谷市議会議長　勝又勝……3
ＫＩＦＡ顧問　田澤進二郎、岡本靖子……4
☆鎌ケ谷市国際交流協会「この20年　活動の記録」
PART Ⅰ　1997年～2007年……5
PART Ⅱ　1988年～1997年……24
☆鎌ケ谷市国際交流協会・部会別「この10年のあゆみ」
執行部……16　交流部会……18　研修部会……20
日本語教室……22　ワカタネ定期派遣交流……23
☆ＫＩＦＡ「現在と未来」
執行部……28　交流部会……29　研修部会……30
広報委員会……31
☆information ＆ 編集後記……32

設立20周年によせて

鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）
会長　酒井哲郎

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）は1988年４月に設立以来、今年で節目の年である20年を迎えます。これまで温かく見守っていただいた行政機関、ご指導いただいた先輩諸氏、ご支援いただいた市民の皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。ＫＩＦＡの活動としましては、この20年間市民、在住外国人のためにさまざまな活動を行ってまいりました。

またＫＩＦＡ設立10年目の1998年には、ニュージーランド・ワカタネと鎌ケ谷市の間で姉妹都市提携が結ばれました。

ＫＩＦＡは、その後の10年、ワカタネとの姉妹都市提携をきっかけに、活動を一段と広げてまいりました。その一つが「成人派遣」で、2000年から原則隔年、あるいは日本庭園の竣工式や姉妹都市提携10周年の式典などの行事にあわせて一般市民を募って派遣し、ホームステイしながらワカタネ市民と交流を楽しんでおります。ワカタネは太平洋に面し、郊外にはなだらかな丘陵地帯は広がり、自然豊かな牧場で牛がのんびりと草を食んでいる様子は、日本から行ったわれわれには別の時間がゆったりと流れている感じを与えてくれます。訪問するたびに新しい発見があり興味はつきません。

さらに「青少年ロングステイ」として市内在住・在学の高校生・大学生を対象に夏休みを利用した、約４週間ホームステイと現地の高校に通いながら、異文化を体験する事業も行っています。帰国報告会では毎回多くの素晴らしい体験や新しい自分発見の報告があり、私たちボランティアも大きな感動をもらっています。

ＫＩＦＡでは10周年以降、青少年の育成を念頭に子ども英会話「スマイリーキッズ」、市内公立小中学校の国際理解の授業に協力する外国人講師派遣にも力を注いできました。語学講座、バス旅行、ＫＩＦＡパーティーなど長年行っている事業にとどまらず、英会話サロン、定期的文化交流など、常に新しい魅力ある事業を模索しながら活動をしています。

20周年の今年は、新たな試みとしてワカタネ・トライデント高校と県立鎌ケ谷高校の間で交換留学事業が実現しました。交換留学事業は始まったばかりですが、関係者のご協力で是非とも定着してほしい事業であります。

ＫＩＦＡは常に市民に期待される魅力ある事業を進めて行くことが重要だと思い、日々努力しております。その一方で常に新しいボランティアの力も不可欠だと感じております。行政では市民活動推進センターを設置して、ボランティア活動を一般市民に広く紹介しております。鎌ケ谷市では団塊の世代でここ数年のうちに定年を迎えられる方が6200人もいると言われています。是非とも団塊の世代の方々にＫＩＦＡに加入していただき、ボランティア活動に協力していただくと、ＫＩＦＡ活動はこれまで以上に活性化されることでしょう。

鎌ケ谷市は地理的にも国際空港成田と都心との中間に位置しています。2010年には成田新高速鉄道が新鎌ケ谷を経由して、都心から成田に直接乗り入れすることが予定されており、今後多くの外国の方が居住されると予想されています。多文化共生におけるＫＩＦＡの活動の意義は大きくなると思います。

今年は20周年の節目の年ですがこれは単なる通過点で、今後ＫＩＦＡは30、50年とさらに市民に信頼され、発展して行くものと期待しております。

国際色豊かなまちづくりのために

鎌ケ谷市長　清水聖士

貴協会が設立された1980年代は、東西冷戦やイラン・イラク戦争の終結など、世界平和に向けて大きな前進がみられた時代でした。また、国内では国際化の推進が提唱され、なかでも草の根の交流の重要性がクローズアップされた時代でもありました。そのなかでも、貴協会は時代に先駆けて、鎌ケ谷市におけるさまざまな国際交流事業を展開し、20年という長い歳月にわたって鎌ケ谷市の国際化の進展に寄与してくださいました。鎌ケ谷市の姉妹都市であるニュージーランド・ワカタネとの交流も今年度で10周年を迎えますが、両市の友好関係も貴協会のお力添えにより、強固な絆で結ばれ、今日に至っています。

現在、交通や情報技術の発達により、グローバル化がますます進んでいます。私たちも、生活の中でさまざまな形で世界をより身近に感じるようになっています。特に近年は、諸外国との国際協力や国際交流の活性化とともに、文化的背景の異なるさまざまな国籍をもつ方々が地域で共に生きる、多文化共生の社会に変貌を遂げつつあります。このようななかで、貴協会が取り組んでおられる交流イベントや外国人住民の方がスムーズに生活を送るためのサポートなどの活動は、時代のニーズに合った、非常に素晴らしいものと感じております。

鎌ケ谷市における外国籍住民の皆さんは年々増加する傾向にあり、2010年には新鎌ケ谷と成田空港を直接結ぶ成田新高速鉄道の開通も見込まれています。鎌ケ谷市における国際化は、ますます重要性を増しております。これからも鎌ケ谷市は、国際色豊かな、活気あふれる鎌ケ谷のまちづくりのため、貴協会とともにさまざまな取り組みを進めてまいりたいと思います。貴協会のますますの発展を心からお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

KIFAの果たす役割は重要

鎌ケ谷市議会議長　勝又　勝

ここに鎌ケ谷市国際交流協会が、設立20周年を迎えますことを心よりお祝い申し上げます。

鎌ケ谷市国際交流協会におかれましては、各種行事やホームステイ等の活動をとおして、積極的に国際交流に努められる一方、市民に対しては、語学講座をはじめ国際感覚を身につけるための、各種活動を実践されておりますことに心から敬意を表します。

今年は、ニュージーランド・ワカタネと姉妹都市になってから、10年を迎える記念の年であります。また、先日はワカタネ・トライデント高校の生徒との交流が盛大に行われ、今後も各種事業を実施予定と聞いておりますが、ここに至るまでには、大変なご苦労があったとご推察いたします。これもひとえに、ＫＩＦＡ（鎌ケ谷市国際交流協会）の一助なくしては成り立たないものであり、改めてここに感謝申し上げます。

さて、近年、外国の方々とコミュニケーションを深めるなど異文化交流が盛んになり、お互いの文化にふれることで、より一層、国際理解が深まっていくなか、これらの交流がさらに国際化の進展や世界の平和に寄与していくものと感じております。

このようなことから、国際交流協会の果たす役割は重要であり、会員の皆さま方におかれましては、国際交流の橋渡しとして、さらにご尽力下さいますようお願い申し上げる次第でございます。結びに、鎌ケ谷市国際交流協会の発展と、会員の皆様のご活躍とご健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

苦労も今では夢のよう

KIFA顧問　田澤進二郎
（1998～2001年・第3代会長）

鎌ケ谷市国際交流協会設立20周年まことにおめでとうございます。設立以来歴代の役員さんはじめ会員の皆さんには、国際交流の原点に立って大変なご活躍をいただき、心から敬意と感謝を表するしだいです。

私も設立時より微力ではありますが、いろいろとお手伝いをさせていただきました。姉妹都市でありますニュージーランドのワカタネを訪問したり、在住の外国人とバス旅行をしたり、楽しい思い出がたくさん残っております。また会の組織づくりに、新しいイベントの企画に大変苦労したことも今では夢のようです。このように立派に20周年をむかえることができましたこと、ご同慶にたえません。

どうぞこれからも役員・会員の皆さんの力を合わせ、ますます国際交流に国際平和に貢献されますことをお祈りし、私のお祝いの言葉とします。

発展に大なるエールを

KIFA顧問　岡本靖子
（2002～2005年・第4代会長）

設立20周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

国際交流協会の活動に参加してもらえないだろうか、というお話をいただいてから、早いもので20年が経ってしまいました。夫の仕事の関係でアメリカに渡り、２人の子どもたちが小学校から高校卒業まで異文化のなかで育ち、帰国して間もなくのころでした。海外で受けた種々の優しさを、どのような形でお返しできるだろう、と私自身考えていた時期と重なりましたので、即協力の返事をさせていただきました。

設立総会に向け何度か話し合いが持たれ、1988年、鎌ケ谷市国際交流協会が誕生しました。５周年（アジアの物産展）、10周年（ニュージーランド・ワカタネとの姉妹都市提携記念式典＆10周年記念パーティ）と、市の協力はもとより近隣市からのアドバイス、情報等をいただきながら、試行錯誤を繰り返しつつも今日を迎えられたということ、本当に嬉しく思います。また、ボランティア活動に興味を持ち、積極的に参加された多くの市民の心の結集であることを誇りに思うと同時に、決して忘れてはならないと思っています。

これまでは市民に向け事業展開をしてきました。これからは時代の流れ、変化をキャッチしつつ、いろいろな意味において少し軌道修正を行う節目に来ていると思います。ワカタネとの交流の推進、青少年の青少年による青少年のための事業のさらなる推進は言うまでもありませんが、私たちアジア人として、アジア圏の人々と草の根交流、友好関係を深めていく必要性を感じています。

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）のますますの発展に、大なるエールを送ります。

鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）
この20年間 活動の記録

PART Ⅰ
1997～2007

1997（平成9）年11月　1997年度のあゆみ　1998（平成10）年3月

1997年11月16日　ＫＩＦＡ設立10周年記念 ニュージーランド・ワカタネ姉妹都市提携 記念合同祝賀パーティ開く

◆**1997年11月16日＝ワカタネ姉妹都市提携調印式、ＫＩＦＡ設立10周年記念合同祝賀パーティ**――ワカタネからの代表団、文化グループら42人、鎌ケ谷市民1200人が列席。両国国歌演奏、協定書の交換と調印が行われ、続いて両市長があいさつ、記念品の交換が行われた。祝賀パーティでは小中学生による合唱や演奏、マオリのパフォーマンス、笑福踊り、合唱などアトラクションが繰り広げられた。会場では、餅つき、そば打ち、帯結びなど、日本文化の紹介コーナーも人気になった。（市民体育館）

◆**12月14日＝通訳ボランティア研修会「外国語で話す会」**――日本についてどんな印象を持っているか英語、中国語、スペイン語をそれぞれ母国語とする外国人パネラーを招き、懇談会を開く。通訳ボランティアが大活躍。参加者は40数人。

◆**1998年１月18日＝日本語ボランティア研修会**――助詞「で」「と」「たら」について、松本明子講師から、多くの例文の作成について研修する。

◆**２月１日＝派遣部会講演会「中国見たまま」**――中国天津南開大学教授・足立吉弘さんによる、中国の生活や心情など、興味深い話を聞く。

◆**２月７日＝講演会「私の歩いた世界と日本」作家・辺見庸氏**――「自動起床装置」で91年の芥川賞を受賞、「もの食う人びと」など、ルポルタージュでも活躍するジャーナリスト辺見氏の講演会。県内各地からも聴講者が集まった。内戦や貧困に苦しむアフリカや放射能に汚染されたチェルノブイリの現実など話し、「見えない像を見なくてはいけない、聞こえない音を聞きたい」という、ジャーナリスト精神に徹した氏の姿勢が強く感じられた。

◆**２月15日＝外国家庭料理を楽しむ**――ドイツ人のアネッテさん、バングラデシュのジャッキーさんの指導で、外国家庭料理教室が開かれ、応募した市民と交流部員ら35人が、家庭料理を２時間かけて作った。出来上がった料理の説明を聞き、味わいながら、懇親パーティを楽しんだ。

事務局担当の川島妙子さん（右）と三澤明恵さん（左）

語学講座の先生方

姉妹都市提携調印記念パーティで

第3代新会長に田澤進二郎氏が就任

◆**５月16日＝1998年度総会開く**――新会長に田澤進二郎氏が就任。副会長には岡本靖子、竹内明の各氏。また各部会長には次の各氏が就いた。交流部会長・冨澤一隆、研修部会長・藤本克代、派遣部会長・佐藤キク、広報部会長・山崎圭子。総会終了後、４部会の交流会が開かれた。

◆**５月17日＝1998年度語学講座開講式**――中国語と英語で３人の新任講師を迎え、５講座でスタート。

◆**５月24日＝焼物の郷・笠間・益子バスツアー**――今回で２回目のバスツアーは総勢53人（外国人24人）、市役所を８時に出発。笠間稲荷から益子へ。浜田庄司氏の作品館や登り窯など見学した。

◆**５月25日～６月１日＝中国研修の旅**――派遣部会の企画で天津南開大学の足立吉弘先生（鎌ケ谷市出身）のお世話で22人が参加。学園での熱烈歓迎と交流の旅。

◆**６月７日＝「国別交流会」ブラジルを聞こう**――「日本人とお友達になって」と市内・近郊在住のブラジル出身の人たちに呼びかけ、25人の参加者と交流会を開いた。

◆**７月19日＝バーベキューパーティ**――外国人17人、市民34人が参加。コンロ６台に持ち寄った食材のバーベキューパーティで、広場には歓声が響いた。

◆**８月22日＝市民夏まつりに参加**――400人を超える市民がブースに足を止め、浴衣姿の外国人も立ち寄って、ＫＩＦＡの活動に関心が集まった。

◆**８月22日～29日＝中学生15人、ワカタネで貴重な体験**――市の教育委員会の主催で、市内の５中学から３人ずつ15人が姉妹都市へ一週間の旅。日本人としては初めてというマオリのミーティングハウスでの宿泊など、中学生にとっては忘れがたい思い出になった。

◆**９月28日＝トライデント高校生、先生を迎えウェルカムパーティ**――26日から30日までニュージーランド・ワカタネのトライデント高校から生徒10人、引率者４人が市内のホストファミリーの家に滞在。学校訪問、学校給食の体験などし、交流の輪を広げた。

◆**10月18日＝「国別交流会」ＫＯＲＥＡを聞こう**――ゲストスピーカーに中村欽哉さんを招き、「日本の隣りの国、秋の美しいソウル」の話を聞く。43人が参加。

ワカタネ・トライデント高校生を迎えウエルカムパーティ

◆**11月８日＝日本語教室校外学習で「日光」**――マイクロバスの提供を受け、黒板、チョーク、テキスト、カードを持参、バスの中は教室に早変わり。紅葉のいろは坂を満喫した。

◆**11月15日＝ＫＩＦＡパーティ1998**――会員、市民らに、外国人16カ国（アメリカ、アンゴラ、イギリス、イラン、インド、オーストラリア、ガーナ、カナダ、韓国、中国、ドイツ、ナイジェリア、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、ペルー）の83人を含め270人の参加者が集い、華やかに繰り広げられた。

◆**12月14日＝「外国語で話す会」わたしの国の自慢料理とくらし**――通訳ボランティアの研修を兼ね、母国語が英語、スペイン語、中国語（北京語、広東語）のパネラーが手作り料理を持参、レシピや材料を母国語で話してもらい、ボランティアが通訳。参加者51人は有意義な時間を過ごした。

◆**1999年１月23日＝日本語ボランティア研修会**――助詞の「に」「の」について。講師は松本明子先生。周辺市からの参加もあって34人が学ぶ。

◆**２月６日＝若林正人氏講演会「東は東、西は西」**――200人を超す市民ら聴衆が、ＴＶ朝日のニュースステーションで久米宏氏のパートナーとしてユニークな存在だった若林氏の講演。さくら中継の裏話など、視聴者には分からない隠されている事実を明かした。

◆**２月21日＝「国別交流会」フィリピンを聞こう**――山崎登美子氏を招き、フィリピン出身者３人を含む32人の参加者がフィリピン人の生活について聞く。

◆**２月28日＝1998年度語学講座閉講式**

市民夏まつりに展示ブース

日本語教室の日光校外学習

若林正人氏の講演会

ＫＩＦＡインターネットホームページを公開

◆**５月16日＝1999年度語学講座開講式**――英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ。スペイン語、中国語の受講生が出席。アトラクションとして、アネッテ植松さんのドイツ語ワンポイントレッスンでヨーロッパ気分に浸り、ジャズシンガーのマリア・エヴァさんの魅惑の歌声が会場を包んだ。

◆**５月23日＝新緑の南房総・海ほたるバス旅行**――参加者は54人（外国人はバングラデシュ、中国、シンガポール、韓国、アメリカなど）車中で自己紹介。東京湾アクアラインから「海ほたる」、東京電力「新エネルギーパーク」を見学。楽しい一日を過ごした。

◆**６月６日（日）＝1999年度総会開く**――総会で組織の改正が行われた。これまで役員の選出については、会長が指名していたが透明性の確保と民主的に選出すべく、副会長・会計は理事会で互選とし、部会長は部会員の中から互選することを明文化した。組織は交流部会、研修部会、広報委員会の２部会１委員会制とする。新しく交流部会長に石関博康氏が就任。広報委員会も「各部会から選出された２人以上の部会員及び会員の中から希望をする者をもって構成する」ことになり、委員長に堀部道子さんが就いた。

◆**７月18日＝バーベキューパーティ**――104人が集まり（外国人34人、市民70人）、コンロ６台に各自の食菜が盛られ、美味しい匂いが林間に漂い、ジャズバンドも入り、大賑わいのパーティになった。

◆**９月２日～11月18日＝フレンドリー英会話講座**――老人クラブ連合会「生涯学習」の一環で60歳以上を対象に、坂田佳枝さんの指導で全10回の講座。

◆**８月28日＝市民夏まつり、外国物産展大盛況**――ペルー、ニュージーランド、バングラデシュ、ガーナの４カ国の協力で、各国物産の即売会を開き来場者の関心を集めた。トルコ大地震へ救援カンパも。

◆**９月13日＝ＫＩＦＡホームページ公開**――世界にひろがるふれ合いネットワーク構想から約１年、念願のＫＩＦＡインターネットホームページをアップ。交流部会を中心にした有志の協力で公開にこぎつけた。

◆**９月18日＝講演会「ボランティアとしての通訳ＡＢＣ」**――日本観光通訳協会の北島克巳氏に聞く。また、研修部会の主管であった通訳ボランティアが事務局の主管になる。

毎回南部公民館で開かれる外国の家庭料理教室

◆**10月17日＝外国語で話す会「私の国の暮らしぶり」**――英語、中国語、スペイン語、ドイツ語、韓国語を母国語とするパネリストによる、風習や遊びの話を通訳ボランティアを通して聞き、国別グループに別れ、片言交じりの外国語、日本語で茶話パーティが続いた。

◆**11月14日＝日本語教室校外学習で「箱根」**――マイクロバスに教室の生徒11人、ボランティア12人の総勢23人が箱根・芦ノ湖・大涌谷をめぐった。好天にもかかわらず霞がかっていたが、富士山はきれいだった。

◆**11月28日＝ＫＩＦＡパーティ1999**――参加者は348人。外国人は17カ国114人。出展ブースはガーナ、バングラデシュ、ペルー、フィリピン、韓国、ニュージーランド、アメリカ、日本語教室。

◆**12月12日＝「国別交流会」フィリピンと話そう**――鎌ケ谷フィリピンサークルの会員から、お国の文化、言語、人口、観光の話、民謡の紹介。集まった52人の参加者はフィリピンに染まった一日だった。

◆**2000年１月23日＝アジアを歌う、奥山由美コンサート**――アジアの歌を訪ねた体験を語りながら、中国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、ロシアなどアジアの民謡、民族歌を歌い100人の聴衆を魅了。

◆**１月30日＝外国家庭料理講習会**――41人の参加者が、ロシア料理は高中秀夫さん、ニュージーランドはヘイドイさん、台湾料理は石井淑玲さん、日本料理は堀優子さんの指導で取り組んだ。

◆**２月27日＝1999年度語学講座閉講式**――英語３クラス、スペイン語、中国語の受講生たちが成果を発表した。

外国語で話す会「私の国の暮らしぶり」（左・ドイツ語、右・中国語）

奥山由美コンサート

バスツアー、市民にも参加募集を呼びかける

◆**４月４日＝ワカタネ来訪団、ウェルカムパーティ**――18人の訪問団を歓迎するパーティが姉妹都市委員会主催で開かれ、130人の市民が参加し交流を深めた。

◆**５月７日＝外国人に110番、119番電話講習会**――鎌ケ谷警察署と消防署による外国人のための防犯・救急・火災予防、緊急連絡について講習会。

◆**５月21日＝2000年度総会開く**――この４月から市当局の所管業務の変更があり、所管が市長公室から教育委員会社会教育課に変わり、事務局も５階フロアーに移動した。田澤進二郎会長。副会長に石関博康、小栗淑子、会計に西峰光男、藤本克代の各氏が新たに就任した。交流部会長に荻裕、研修部会長に渡部恭子､広報委員長に木村浩の各氏が就いた。

◆**５月21日＝2000年度語学講座開講式**――英語３講座、スペイン語、中国語の受講生100人余りが、担当の先生の注意を聞き学習への意欲を高めた。

◆**５月21日＝講演会「世界のトイレ事情と日本」**――語学講座開講式の後、大田区立郷土博物館館長・西岡秀雄さんの、80カ国を旅して見てきた、使用してみた世界のトイレ事情講演。とくに事後処理の方法についての、大変ウンチクのある話に会場は爆笑。

◆**５月28日＝バスツアー・茨城の旅**――バス２台に88人の参加者。この年から一般市民にも参加を呼びかけ、47人が応募、うち外国人は16人と会員41人とともに牛久シャトーに到着。ガーデンバーベキュー、牛久ワインを味わう。午後は筑波山へ。ロープウェーで山頂へ、夕陽に輝く関東平野を眼下に眺め歓声を上げた。

◆**７月４日＝日本語教室「七夕学習会」**――日本語教室の受講生たちに「七夕まつり」の特別学習。

◆**７月16日＝バーベキューパーティ**――梅雨の合間のまばゆい陽光の林間。フィリピンはじめ８カ国の49人を含め122人の市民がコンロを囲み交流の輪を広げた。

◆**８月26日＝市民夏まつり「外国物産展」**――外国人スタッフの強力パワーで今年も大好評。

◆**８月20日～27日＝中学生のワカタネ交流深まる**――帰国した生徒たちは、トライデント高校一日体験入学で知った、自由な雰囲気が印象的だったという。

研修部会員と語学講座の講師のみなさん

◆**９月２日＝語学講座の講師交流会**――各講座の講師と役員、研修部会員が講座の進め方について話し合った。

◆**10月22日＝日本語教室校外学習「バスで富士山５合目登山」**――霧で眺めはあまり良くなかったが、キャベツを収穫したり、鍾乳洞を見学、楽しい１日だった。

◆**10月29日＝「外国語に親しむ会」スポーツの話を聞こう**――ニュージーランド、中国、イタリア、スペイン、ブラジル、ドイツ出身者に母国のスポーツの話を聞く。

◆**11月７日＝学校派遣「アジアの食文化を学ぶ」**――東部小５年生の学習会にアジア出身の在住者を講師として派遣、料理づくりを紹介。それぞれの食文化や風習について生徒らと交流を図った。

◆**11月12日＝ＫＩＦＡパーティ2000**――20カ国86人の外国人を含め266人が集い、会場は国際色が一杯に広がった。参加者がみんな出演者となってダンスダンス。

◆**12月３日＝「国別交流会」中国を聞こう、中国と話そう**――参加者93人うち外国人15人。

◆**12月10日＝日本語ボランティア研修会**――日本語ボランティアに関心のある市民による「新日本語の基礎」具体的な教え方など研修。2002年２月10日にも開く。

◆**12月19日＝「日本語教室」特別学習――年賀状を書こう。**

◆**2001年１月28日＝外国家庭料理講習会**――スペインのクリスティーナさん、タイのマムさん、バングラデシュのトトルさん、３人がそれぞれ「母に教わった」という家庭料理の指導と試食会を44人が楽しんだ。

◆**２月18日＝2000年度語学講座閉講式**

◆**２月18日＝落語のＡＢＣ**――桂む雀さん、桂あさ吉さんを招き、落語の鑑賞方法を聞く。

バスツアー・茨城の旅

日本語教室「七夕学習会」

ＫＩＦＡパーティ2000

市からＫＩＦＡに「特別感謝状」贈られる

◆**５月20日＝2001年度総会開く**――新年度事業計画、予算案などを承認、一部規約改正も承認。役員の一部変更があり広報委員長に酒井哲郎氏。

◆**５月27日＝2001年度語学講座開講式**――ハワイアン・コンサートも同時開催。英語３講座、スペイン語、中国語、日本語教室の受講生140人が出席。「ワイキキ・ドリーマーズ」によるハワイアンの演奏を鑑賞。

◆**６月10日＝バスツアー、河口湖畔と勝沼ワイナリーの旅**――総勢参加者92人はバス２台で市役所を出発。11時、河口湖ハーブ園に到着、かすむ富士山を湖畔から眺めながら昼食。午後はワイナリーなど見学。

◆**８月22日～29日＝第５回ワカタネ親善訪問**――ＫＩＦＡ結成15年、ワカタネ姉妹都市提携５年の節目を迎え総勢26人による訪問団を結成。ホームステイをしながら、親善役を果たした。

◆**８月25日＝市民夏まつりＫＩＦＡブース**――主な活動記録をイラストで掲載、姉妹都市ワカタネと鎌ケ谷市の比較図、民族衣装などを展示。

◆**９月16日＝バーベキューで楽しむ国際交流**――食材を焼き、中国人の親子、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、イラン、韓国など各国の皆さんが楽しむ。

◆**10月６日＝ＫＩＦＡに特別感謝状**――鎌ケ谷市市制30周年記念式典において、1988年４月の設立以来の活動が評価され、市の発展に貢献したとして「特別感謝状」が贈られた。

◆**10月４日～12月６日＝フレンドリー英会話講座開講**――60歳以上が対象。増田千佳先生。10回。

◆**10月21日＝外国語に親しむ会「教育」**――ドイツ、アネッテ植松さん、中国・占志強さん、スペイン、クリスティーナ・ロペスさん、アメリカ、ヘザー・ファーマンさんが、お国の教育事情や子供の遊びについて話し、国別グループに分れた懇親会で意見交換をした。

◆**10月28日＝日本語教室校外学習「房総の養老渓谷」**――４年目を迎えた校外学習、総勢27人が参加。

◆**11月18日＝ＫＩＦＡパーティ2001**――初めて参加した一般市民が多く400人を超す参加者があり、大盛況となった。21世紀最初の国際交流パーティは将来への希望を抱かせるものになった。

ワカタネ成人派遣のメンバーによるそば打ち交流

◆**12月２日＝「国別交流会」タイＤＡＹ**――「ほほえみの国タイに生活して、その歴史と文化」について、タイ滞在経験豊富な遠藤尚子さんが紹介。55人が参加。

◆**12月９日＝波多野敬雄氏講演会「日本の常識、世界の非常識」**――長い外交官の経験、外国生活から見た日本の国際感覚について、私たちの活動や考えが世界に理解され、受け入れられるには何が必要か、いくつかの例をあげて話す。

◆**2002年１月27日＝外国家庭料理講習会**――スリランカ、韓国、カナダ、インドネシアの各講師の指導で、エプロン姿の男性たちも料理に懸命。会場はスパイスの匂いですっかりエスニックな気分。53人参加。

◆**２月３日＝宮本信生氏・神崎愛さんによる講演・コンサート**――国際社会において、日本のめざすものはなにか、元キューバ、チェコ大使など勤めた外交評論家の宮本氏の講演と、夫人で女優の神崎愛さんの「シェルブールの雨傘」「ハンガリー田園幻想曲」などフルート演奏に魅せられた。

◆**２月５日＝昔遊びを楽しもう、外国人講師派遣**――道野辺小３年が、外国ではどんな遊びがあるか知りたいということで、アメリカ、フィリピン、タイ、インドネシア、中国の10人の講師たちと、子どもの遊び交流会を楽しむ。

◆**２月17日＝2001年度語学講座閉講式**――英語Ａ、Ｂ、Ｃの３クラスとスペイン語、中国語、日本語、フレンドリー英会話の講座終了の閉講式が行われた。受講生たちによるクラス発表会も歌とダンスとパフォーマンスが繰り広げられた。

河口湖畔と勝沼ワイナリーへバスの旅

タイを紹介するタイDAY

宮本信生・神崎愛のツーショット

第４代新会長に岡本靖子氏が就任

◆**５月18日～８月４日＝日本語ボランティア養成講座**――講師は松本明子先生、川端芳子先生。テキストは「みんなの日本語Ⅰ」全12回、38人が受講。

◆**５月19日＝2002年度総会開く**――新会長に岡本靖子氏。２期４年会長をつとめた田澤進二郎会長の後任に岡本靖子氏が承認された。副会長には酒井哲郎、小栗淑子の各氏。会計に一色雅男、藤本克代の２氏。広報委員長・渡部恭子、交流部会長・根岸孝子、研修部会長・藤井明恵の各氏で岡本新体制がスタート。

◆**５月26日＝2002年度語学講座開講式**――英語Ａ、Ｂ、Ｃの３講座とスペイン語、中国語の受講生140人が出席。初のオリエンテーションを講座ごとに実施。

◆**７月14日＝いばらき漫遊・バスの旅**――外国人25人を含め90人がバス２台で、黄門様ゆかりの地・茨城を漫遊、交流を深め、歴史と現代に触れ合った。

◆**７月19日～８月４日＝青少年ワカタネ・ロングステイ派遣**――７人の若者が27日間にわたり、南十字星の国でホームステイをしながら、異文化の生活を体験した。

◆**８月24日＝市民夏まつりに参加**――簡単な外国語紹介、民族楽器の展示と紹介でＫＩＦＡの意義をＰＲ。

◆**９月29日＝国際親善バーベキューパーティ**――フィリピン、バングラデシュ、スリランカ、中国、ペルー、スウェーデン、イランなど出身の外国人らと、市民ら75人がバーベキューを楽しみ、歌やダンスで交流。

◆**10月３日～12月５日＝フレンドリー英会話講座**――60歳以上対象に毎週木曜日に開講。受講者は24人。

◆**10月20日＝大草原をわたるモンゴルの調べ**――馬頭琴は頼玉龍さん、古箏は女流演奏家のタラーさんによる演奏会。200人を超す市民らに感動を与えた。

◆**10月27日＝日本語教室校外学習「野田」**――外国人23人が参加。野田しょうゆ館、清水公園などバスハイク。

◆**11月23日＝ＫＩＦＡパーティ2002**――17カ国63人の外国人を含め260人が集い、交流の輪が広がった。

◆**12月８日＝米原万里講演会「ロシア人に学ぶ小咄の作り方」**――ロシア語同時通訳者、大宅ノンフィクション賞作家の米原さんの、ユーモア一杯の講演は、200人近い来場者を知と笑いの時空に誘った。

岡本新体制のメンバー（右から２人目が岡本靖子会長）

◆**2003年１月19日＝Hello! Good Morning! 親子で英語を楽しむ会**――ＫＩＦＡの新規事業として「地域の子どもたちに、言葉を通じて異文化を理解してもらい、世界に通じる国際人に育ってもらう」企画。５歳が13人、４歳１人、小１が各１人の親子15組30人が参加。先生は増田千佳さん、アネッテ植松さん。

◆**１月26日＝外国家庭料理講習会**――メキシコ料理のアレンウッドマンさん、イギリス料理のジョンバートさん、ドイツ料理のアネッテ植松さん、日本料理の山根知世子さんの指導で47人が、４カ国の料理を完成。

◆**２月１日＝通訳ボランティア・ミーティングに会員11人が参加**。意見を交換する。36人が登録、７カ国に対応（英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、ポルトガル語、ポーランド語）が可能に。

◆**２月２日＝「国別国際交流」スリランカＤＡＹ**――宝石のような美しい国・スリランカについて、在日３年半のクマーラさんが、流暢な日本語で文化や言語について講演。スリランカ出身の13人の奥さんたちよる、手作り料理をいただきながら、市民ら計40人が異文化理解の日を過ごした。

◆**２月９日（日）＝2002年度語学講座閉講式**――１年間の学習を終了した120人の受講生が列席。皆勤賞女性が13人、男性１人。英語３クラス、スペイン語､中国語、日本語、フレンドリー英会話の各クラスが学習成果のパフォーマンスを披露しあった。

◆**２月16日＝初めての青少年対象の国際交流パーティー**――各国の若者同士で新しい出会いの場を作ることを目的に、新たに立ち上げた企画。60人を超す青少年たちが、ダンスやお国の紹介などで一日を過ごした。

語学講座開講式の自己紹介

市民夏まつりの参加スタッフ

講演する米原万里さん

姉妹都市ワカタネとの交流が盛んに

◆**４月６日＝お花見バーベキューパーティ**――前日の雨は上がり、５分咲きの桜の下で60人余の市民が集う。

◆**４月10日～20日＝ワカタネのトライデント高校から16人の生徒が訪問**――市内のホストファミリー宅にホームステイしながら、市内の学校見学で交流を深める。

◆**５月17日～８月２日＝日本語ボランティア養成講座**――講師は松本明子さん、品川雅子さん、受講生は31人。

◆**５月18日＝2003年度総会開く**――岡本会長は「設立以来、今年で15年を迎える。昨年度は延べ1300人を超える市民がＫＩＦＡの事業に参加していただいた。今年はとくに、青少年の国際交流に力を入れていただきたい」と抱負を語る。

◆**５月18日＝そねそねクラブ・ミニコンサート**――総会終了後、流山市の親子バンドの音楽演奏を聞く。

◆**５月25日＝2003年度語学講座開講式**――英語２講座、スペイン語、中国語、60歳以上のフレンドリー英会話の５講座に、120人を超す受講生が出席する。

◆**６月７日＝日本語ボランティアネットワーク会議**――東葛地区の６市１町の日本語ボランティアが集まり、意見を交換（流山市南流山市センター）。

◆**６月22日＝講演会・外国文化に親しむ会「京劇へのいざない」**――張紹成さんに、京劇の発生と成り立ちについての歴史と解説、そして楽しみ方を聞く。260人。

◆**６月30日～７月７日＝ワカタネ成人派遣**――姉妹都市提携５周年記念に、ワカタネに造られた日本庭園の竣工式が７月４日に行われ、ＫＩＦＡは式典に６人の市民を派遣。

◆**７月６日＝古都・鎌倉バスツアーで国際交流**――外国人14人と会員ら参加者は45人。10時過ぎ建長寺に到着。次いで鶴岡八幡宮、長谷寺を回り昼食。高徳院へは徒歩で。雨模様の曇り日で駿河湾は見えず。

◆**７月19日～８月14日＝青少年ワカタネ・ロングステイ派遣**――３人の高校生がホストファミリーの家に滞在し、ワカタネ高校に通いながら交流を通し、異文化を体験。21日には市役所の会議室で父母らも参加し、体験報告会が開かれた。

◆**８月23日＝市民夏まつりに参加**――英語、中国語、ドイツ語、スペイン語のミニ講座を開きＫＩＦＡをＰＲ。

日本の春―伝統行事・お花見バーベキューパーティで交流

◆**10月18日～11月15日＝「子ども英会話」スマイリーキッズ**――ＫＩＦＡ新企画。毎週土曜日・全５回。小学３、４年と５、６年が対象で16人が受講。

◆**11月９日＝日本語教室校外学習「房総風土記の丘」**――成田ゆめ牧場、航空博物館。バスのなかでは日本語で自己紹介、あいさつなど全員で復唱しあった。

◆**11月23日＝ＫＩＦＡパーティ2003**――14カ国49人の外国人を含め205人の市民が参加、国際色豊かな外国紹介のブース、民族ダンスなどに人気が集まり、パーティは大盛況で好評であった。

◆**12月７日＝映画鑑賞会「宋家の三姉妹」**――三橋記念館視聴覚ホールに市民・会員240人集まる。

◆**2004年１月25日＝外国家庭料理講習会**――世界３大料理のうち２つが講習会の料理に選ばれた。イタリアは家庭で食べる簡単料理、講師はローマ出身のジョバンニ・モンテさん。中国は「食在広州」のメニュー、講師は２児の母の野村千賀（陳燕玲）さん。応募者40人がエプロン持参で参加し、できた料理はみんなで試食、歌やパーティを楽しんだ。

◆**２月８日＝2003年度語学講座閉講式**――５つの語学講座、１年間30回学習を重ねた80人の受講生が出席。皆勤賞の７人に賞品が贈られた。クラスごとの学習成果の発表パフォーマンスも歌や踊りとにぎやかに繰り広げられた。また、日本語教室に通った外国人たちも、覚えた日本語であいさつをした。

◆**３月14日＝第５回外国人スピーチ大会**――柏市で行われた同大会に鎌ケ谷市から、ジェンマさん（フィリピン）ら３人が出場、日本での生活を日本語で話した。

５年目を迎えた姉妹都市・ワカタネとの交流が盛況（左・成人派遣、右・青少年ロングスティ）

ＫＩＦＡパーティ、執行部の運営に

◆**４月４日＝お花見＆バーベキューパーティ**――雨模様の悪天候を吹き飛ばし、会員や外国ら41人が集まり、英語、日本語、中国語などで歓談し楽しむ。

◆**５月16日＝2004年度総会開く**――岡本靖子会長から「姉妹都市ワカタネとの交換留学推進のための留学基金の設立を提案」があり、これを受け新たな事業として「留学基金」の設立が承認された。新副会長に長南勇、新会計に小栗淑子の各氏が就任。広報委員長に林幸治、研修部会長に波多野勝夫、交流部会長に鈴木浩の各氏が新たに選任された。

◆**５月16日＝2004年度語学講座開講式**――英語Ａ、Ｂ、スペイン語、中国語、フレンドリー英会話の受講生97人が１年間の学習活動スタート。

◆**６月20日＝京劇のすべてを楽しむ**――2003年６月22日に開かれた「京劇へのいざないⅡ」として、ふだんは覗けない楽屋裏から、舞台の実演技まで見せる二部構成で行われた。張紹成氏と２人の劇団員が見事に演じて見せた。240人が鑑賞。

◆**６月27日＝青少年国際交流「養老渓谷」ハイキング**――外国人７カ国、11人を含め総勢26人が、新緑の粟又の滝周辺の遊歩道を歩き、自然のなかで国際交流。

◆**６月29日＝日本語教室特別学習会「七夕」**――参加者14人。

◆**７月14日＝広報誌の編集など広報活動の交流学習**――沼南町国際交流協会を訪ね、ＫＩＦＡから林幸治委員長、前委員長の渡部恭子氏ほか３人の委員が、沼南町の協会広報部を訪問。広報活動について意見交換。

◆**８月28日＝市民夏まつりに参加**――30回目を迎えた市民夏まつりは、会場を新装成った新鎌ケ谷駅北口広場に移して開かれた。活動ＰＲの写真展で市民にアピール。

◆**９月26日＝国際交流・箱根バスツアー**――富士山を見たいという外国人、応募の市民ら90人を乗せたバスツアーは一路箱根を目指す。雨はやんだが曇り空。富士山を見られなかったのが唯一の名残り。

◆**10月22日～11月20日＝「子ども英会話教室」スマイリーキッズ**――２年目を迎えた小学１、２年生（19人）、３、４年生（９人）対象の英会話教室。毎週土曜日の５回。先生は増田千佳先生。

スマイリーキッズの教室風景

◆**10月31日＝「外国文化に親しむ会」インドネシアの音楽とお話**――インドネシアからの留学生が主体の「千葉アンクルンソサイティー」の30人。民族音楽の美しいメロディーが会場一杯に広がった。

◆**11月14日＝外国家庭料理講習会**――応募して集まった受講者41人が、中国料理はハルピン出身の笹岡雅子さん、メキシコ料理は米アリゾナ出身のバッシュさん、カナダ出身のスコットさん。後半は出来上がったお料理をいただきながら、お国の歌を合唱し楽しんだ。

◆**12月５日＝ＫＩＦＡパーティ2004**――今回から運営が交流部会から執行部事業に移行。17カ国60人の外国人を含め250人が集う。第１部は民族衣装ショー、和太鼓。第２部は立食懇親会。

◆**12月21日＝日本語教室特別学習「習字」**――参加者20人。

◆**2005年１月25日＝世界の食文化**――ＫＩＦＡ外国人ボランティアが講師役で、西部小６年生たちが社会科「世界の食文化」の授業で中国伝統の水餃子づくりに挑戦した。講師は日本在住10年の張世妃さん。参加児童は96人。

◆**１月30日＝日本語教室校外学習「みかん狩り」**――小田原城、熱海温泉街、宇佐美のみかん園。はさみを手に食べ放題のみかんにみな満足顔。参加受講者は14人と日本語ボランティア、研修部会員８人の計22人。

◆**２月11日＝2004年度語学講座閉講式**――英語Ａ、Ｂ、スペイン語、中国語、フレンドリー英会話の語学講座の閉講式（フレンドリー英会話は秋に終了）が、80余人が出席して行われた。

ＫＩＦＡパーティ2004の民族衣装ショーと、それを見守る来場者

初の試み「英会話サロン」好評

◆**４月１日＝市の組織改革により、協会の所管が社会教育課から市長公室・企画政策課に移る**――それに伴い海老原正博市長公室次長・企画政策課長が事務局長に就任。事務局も市庁舎３階に移動。

◆**４月３日＝お花見バーベキューパーティ**――高校生ら若者グループも合同、外国人参加者を含め52人の市民が、満開には少し早い桜の下で歓談の輪が広がった。

◆**４月９日＝日本語ボランティア講師養成講座全12回。**

◆**５月15日＝2005年度総会開く**――新たな共同事業をめざし、鎌ケ谷市国際文化交流会（ＩＣＥＣＫ＝アイスク）代表の佐藤キクさんが理事に。

◆**５月15日＝2005年度語学講座開講式**――英語Ａ、Ｂ、スペイン語、中国語、ハングルの各講座の受講生ら81人が出席。今年度から新たに半年講座のハングルが再登場。各講座とも開催日時と会場を変更、これまで参加できなかった人たちの便を図った。

◆**６月28日＝日本語教室特別学習「七夕」祭り**――参加者22人。

◆**６月19日＝青少年国際交流ボウリング大会**――ボウリング・ゲームと昼食パーティ。市内高校生ら５人、千葉大園芸学部の中国留学生５人など、アジア近隣出身者ら27人が９チームに分かれ得点を競った。昼食パーティには岡本靖子会長も参加、ゲームを楽しむ。

◆**８月27日＝市民夏まつりにブース設置**――国際交流の活動を市民にＰＲする。ニュージーランド、韓国、中国、イタリア、ペルー、カナダ出身者によるお国紹介のパフォーマンスで市民らの喝采を浴びる。

◆**８月28日＝ワカタネ・ロングステイ報告会**――７月28日から８月23日まで、ワカタネでホームステイした派遣学生９人（２人欠席）が「ステイ体験」を話す。

◆**９月４日＝パックン・マックン「鎌ケ谷でシャベラナイト」**――ＮＨＫテレビ番組「英語でシャベラナイト」の日米お笑いコンビが鎌ケ谷に登場、173人の市民に笑いと熱気の即席「英語教室」を演じた。

◆**９月25日＝昔の面影を残す佐原市内バスツアー**――台風接近で雨模様のなか外国人16人を含め総員43人の市民が、昔の町並みの小野川べりを散策、山車会館、伊能忠敬記念館や酒造蔵など見学。

パックン・マックンの「鎌ケ谷でシャベラナイト」

◆**10月15日～12月10日＝「子ども英会話教室」スマイリーキッズ**――全７回でスタート。小学１、２年生、12人。３、４、５年生12人。

◆**11月５日＝韓国の文化と暮らしに親しむ**――語学講座ハングルの講師・李賢貞さんに、韓国の生活と文化を語ってもらう。37人が参加。

◆**11月23日＝ＫＩＦＡパーティ2005**――ニュージーランド、韓国、ドイツ、子ども英語会話、日本語教室、茶道協会、芸文協の着付け教室など、日本伝統文化と国際色豊かなブースが人気を集め、世界一のハーモニカ奏者・籔谷幸男さんの演奏が会場に響いた。

◆**12月20日＝日本語教室特別学習会**――正月用飾りの作り方に、参加者27人。

◆**2006年１月29日＝外国家庭料理講習会**――ホルスト・エーミルさんのスウェーデン式肉団子、斉藤カルナさんのタイ式春巻に、23人の参加者が挑戦。

◆**２月５日＝2005年度語学講座閉講式**――スペイン語、英語Ａ、Ｂ、中国語、日本語の生徒ら83人が出席。

◆**２月26日＝第１回「ＫＩＦＡ英会話サロン」**――身近な暮らしの話題を、外国人を交えて英語で会話を楽しむ、英語を外国人と話してみたい市民46人が集まり、英会話オンリーのサロンは大好評だった。

◆**３月30日＝昼休みに胡弓とチェロの響き**――市民と交流、サービスをかね、ＫＩＦＡとしても初めての試み「ロビーコンサート」を市役所の１階ロビーで開催。演奏者は胡弓が棚田貴佳子さん、チェロが大沢有希子さん。「少年時代」「Ｇ線上のアリア」などの調べが流れた。

ボウリングで青少年国際交流

韓国文化を紹介する李賢貞さん

市民夏まつりでのパフォーマンス

第５代新会長に酒井哲郎氏が就任

◆**４月９日＝お花見バーベキューパーティ**――外国人19人を含め60人が食べて、飲んで、踊って、桜の木の下で交流の花が咲く。

◆**５月28日＝2006年度総会開く、酒井哲郎新会長体制が発足**――2002年から２期４年の任期を務めた岡本靖子会長のあと、酒井哲郎氏が新会長に就任した。副会長以下の新陣容は以下の通り。副会長、長南勇氏（留任）、平田真裕美（新任）、会計、高橋修司、定本典子の各氏（いずれも新任）、各部会長は引き続き、広報委員長・林幸治、研修部会長・波多野勝夫、交流部会長・鈴木浩の各氏

◆**５月28日＝2006年度語学講座開講式**――英語Ａ、Ｂ、中国語、ハングルの各受講生は計84人。今年からスペイン語がなくなり、代わりに前年、半年だけ行われ好評だったハングルが通年で開講。

◆**５月10日～16日＝ワカタネ成人派遣**――姉妹都市との文化交流、ホームステイに14人が参加。

◆**５月20日～７月29日＝日本語ボランティア養成講座Ⅱ**――毎週土曜日、全10回、42人が受講。

◆**６月３日～11月４日＝「子ども英会話」スマイリーキッズ**――小学生20人２クラス、15回講座。

◆**７月４日＝浴衣で七夕祭り**――日本語教室に通う外国人たちに、浴衣の着付けを指導、夏の宵を楽しむ。

◆**７月30日＝青少年による青少年のための国際交流**――大学生、高校生らによる「ウォークラリー＆ランチパーティ」。37人参加

◆**８月26日＝市民夏まつりで世界のキャンデー試食**――イベントの記録写真の展示。韓国、中国、トルコ、ベルギーの珍しいキャンデーを提供し、試食。

◆**８月27日＝４人の高校生がロングステイ報告会**――７月27日から８月24日まで、姉妹都市・ワカタネにホームステイしてきた４人の高校生が体験を報告。

◆**９月23日＝ワカタネから親善訪問団**――コリン・ホームズ市長夫妻はじめ、20人の使節団が鎌ケ谷市に来訪、歓迎パーティが行われた。その使節団の中に、ロングスティで通ったトライデント高校のポール先生が来ており、４人の高校生らは感激の再会を果たした。

語学講座閉講式で成果発表するハングル講座の受講生たち

◆**10月１日＝足利市へバスツアー**――バス２台に、30人を超す外国人を含め市民ら総勢98人が、日本最古の総合大学といわれる「足利学校」史跡などバスツアー。

◆**10月29日＝講演会「日本の笑い・世界のユーモア」**――英語落語の師匠でマドンナの文京学院大学助教授の大島希巳江さんによる文化講演。日本独自の笑いの源泉「落語」を学び、世界に「日本の笑い」発信している大島先生の体験談と英語落語「時そば」を聞く。

◆**11月12日＝ＫＩＦＡパーティ2006**――総勢225人が集い、音楽と踊りと、話して食べて、外国人と交流。

◆**12月10日・2007年２月17日＝２回「英会話サロン」**――12月10日は参加者25人で、テーマは「私の故郷」。２月17日は参加者30人が、「自然・風習・地雷」について英語だけの会話がはずんだ。

◆**2007年１月30日＝鎌ケ谷四中に外国人10人派遣**――「日本の遊び、世界の遊び」で国際交流。中国３、ペルー２、台湾２、ドイツ、オランダ、シンガポール各１の10人の外国人講師が「お国」を紹介する。

◆**２月４日＝2006年度語学講座閉講式**――12人の皆勤賞には記念品が贈られた。英語Ａ・Ｂ、中国語、ハングル、日本語のクラス仲間は歌やスピーチ、寸劇で表現、研修の成果を披露した。59人出席。

◆**２月25日＝外国家庭料理講習会**――フィリピンは小山田ジェンマさんとそのお友だちによる、フィリピン風の春巻き、野菜たっぷりのビーフンなど。ペルーはペーニャ・フリオさん、カメコ・ロザリオさん夫妻によるセビチェ、コーサレモンなど、エスニックとラテンの風味が効く家庭料理講習会となった。試食会では、それぞれの国の紹介や食べものを紹介。41人参加。

英語実力確認で人気の英会話サロン

鎌ケ谷四中に10人の外国人講師が集まった

フィリピン料理の講師たち

ＫＩＦＡ設立20周年記念パーティ開く

◆**４月８日＝日本語「日曜」教室スタート**――在住外国人の学習意欲に応え、新たに昼間の「日曜教室」が始まった。初日のこの日、外国人の出席者は８人。５月に入って、学習者は11人に増えた。

◆**４月８日＝お花見バーベーキューパーティ**――暖冬異変の今年の桜。「花まつりの８日」天は絶好のお花見日和を演出してくれた。一般市民、在住外国人ら51人（外国人12人）が駆けつけ、国際交流の花が咲いた。

◆**５月20日＝2007年度総会**――酒井哲郎会長はあいさつで「今年はＫＩＦＡ設立20周年の年。記念式典、パーティ、記念誌の発行などの準備を進めている。また、鎌ケ谷市がワカタネとの姉妹都市提携10周年にあたる。11月のワカタネでの式典にＫＩＦＡからも訪問団を派遣する」旨を報告。会員の参加を要請した。交流部会長に高坂忠雄氏が就任。

◆**５月20日＝2007年度語学講座開講式**――英語Ａ、Ｂ、中国語、ハングルの４講座、総数93人。英語Ａで講座内容を「初めての外国旅行」とテーマ設定した。

◆**６月２日＝「子ども英会話」スマイリーキッズ**――22回講座スタート。昨年、15回実施された「子ども英会話」、受講者の父母からの強い希望で今年度は土曜日・22回の講座に。受講生28人（１・２年生／３年生／４・５年生の３クラス）の生徒に各50分の授業。

◆**７月３日＝日本語教室の特別学習会「七夕まつり」**――参加者は、外国人20人、ボランティアなど24人。用意された短冊にそれぞれ願い事を書いて笹に飾り、ボランティアが持ち寄った浴衣の着付け、盆踊りを笑顔で体験し、日本の伝統文化を楽しんだ。

◆**７月22日＝アセアンをもっと知る会**――新しい試みとして、鎌ケ谷在住のアセアン出身の人を招き、それぞれの国について話をしてもらった。話してくれた人は斉藤カルナさん（タイ）、トラン・バンロンさん（ベトナム）、小山田ジェンマさん（フィリピン）の３人。参加者は40人（会員28人、非会員12人）。珍しいお菓子を食べつつ、遊びや年中行事についての質問タイム。日本に来た事情や動機はそれぞれ違っていても、祖国への想いは３人とも同じ。

新しい試み「アセアンをもっと知る会」

◆**８月26日＝ＫＩＦＡ第５回ロングスティ派遣報告会**――今年で第５回となった「ＫＩＦＡ2007年度・青少年ワカタネ・ロングステイ」は、７月27日から８月23日までの４週間、姉妹都市ニュージーランドのワカタネに滞在、ホームステイをしながらトライデント高校に通った。公募で選ばれた４人（高校生・大学院生）と、今年が始めてとなる鎌ケ谷高校の２人の交換留学生の６人による報告会が開かれた。

◆**９月２日＝初秋のバスツアー「日光」**――千葉から一番近い世界遺産「日光東照宮」。11カ国47人の外国人とともに計95人が参加。ＫＩＦＡ設立20周年記念の年に当たり、目的地は外国人に人気の高い「日光東照宮」。参加国はスリランカ、中国、ブラジル、バングラデシュ、ベトナム、オーストラリア、フィリピン、シンガポール、韓国、インド、ニュージーランド。日光山には10時過ぎに到着した。日本を代表する名瀑・華厳の滝が濃霧で見られなかったのが、残念だった。

◆**９月２日＝４回目となる「ＫＩＦＡ英会話サロン」**――「外国の文化・暮らしについて生の英語で会話したい……」という市民35人（会員27人・非会員７人）が参加。テーマは「環境・教育・ボランティア」。

◆**11月２日～９日＝成人の「ワカタネ交流ツアー」**――酒井哲郎会長をはじめ６人。鎌ケ谷市長や市会議長が出席する姉妹都市提携10周年の記念行事に参加。ツアー一行はワカタネ滞在中、一般家庭にホームステイして現地の人々と姉妹都市の友好と友情を深めた。

◆**11月18日＝ＫＩＦＡパーティ2007――設立20周年記念・ワカタネ姉妹都市提携10周年記念の祝賀パーティ開催。**

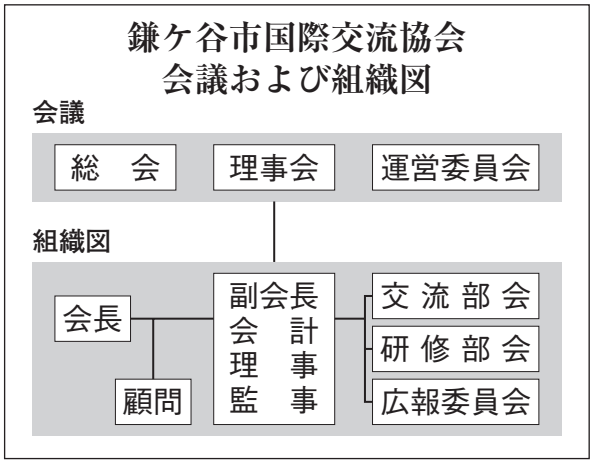
日本語日曜教室始まる

ワカタネ・ロングステイ報告会

日光・湯滝をバックに

執行部、この10年のあゆみ

ＫＩＦＡの運営と実行を調整



《歴代の執行部・三役》

年度	会長	副会長	会計
1988	佐々木武二郎	秋山秀一	
1992	佐々木武二郎	秋山秀一	田澤進二郎、中村孝一
1994	佐々木武二郎	岡本靖子、荒井茂行	田澤進二郎、菅原正巳
1995	荒井茂行	岡本靖子、竹内　明	田澤進二郎、菅原正巳
1998	田澤進二郎	岡本靖子、竹内　明	茂野　昭、川井　彰
2000	田澤進二郎	石関博康、小栗淑子	西峰光男、藤本克代
2002	岡本靖子	酒井哲郎、小栗淑子	一色雅男、藤本克代
2004	岡本靖子	酒井哲郎、長南　勇	一色雅男、小栗淑子
2006	酒井哲郎	長南　勇、平田真裕美	高橋修司、定本典子

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）全体を俯瞰する形で、1998年から現在までの10年間を振り返ってみることにします。

国際社会の平和と繁栄に貢献

《KIFAの基本方針について》

基本方針は1988年に制定され、その後、２回の一部改正を経て、2003年まで総会資料に掲載されていました。そこには「人と人、心と心のふれあいによる国際交流を推進することは、国際親善、国際理解へとつながり、国際社会の平和と繁栄に貢献するものである」との基本理念に基づき、ＫＩＦＡの設立目的を達成する上で、基本となる活動方針が示されております。

当然、その精神は今でも生きていますし、今後も生き続けるものと思います。ついては、今後とも私たちが事業を展開するに当っての拠り所とするため、再確認の意味で改めてその一部を掲載します。

１）人と人の心のふれあいを基本とし、より多くの市民が関心を持ち、だれでも参加できる楽しい協会とするため、市民主体の活動を計画、実施します
２）協会活動を通して得た貴重な体験や経験や資料をもとに、より発展的な事業を展開します。
３）ワカタネとの姉妹都市提携調印により、今後協会としても積極的に交流を進めます。

《会員加入の状況について》

17頁の表から分るように、ＫＩＦＡの会員数の推移は1998年から2004年まで漸減傾向にありました。減少した理由については、残念ながら明確には把握できておりません。2005年以降はやや持ち直しています。

《予算関係について》

この10年間に、かなり大きな変化が見られます。一言で言えば、財政的に苦しくなってきた、ということです。ＫＩＦＡの収入は事業からの収入、会員からの会費収入及び鎌ケ谷市からの補助金です。

会費収入は会員の増減と密接な関連があります。したがって2004年までは漸減、以降は横ばいとなっております。

市の補助金については2001年に100万円増加し、翌年も同額でしたが、2003年から市の経費抑制の一環で40万円減額となりました。さらに同年より補助枠の残額については、市に返還することとなり、これらの影響により2004年以降、繰越金が漸減し、次第に厳しい状況に至っています。（注）2007年度予算は、ＫＩＦＡ設立20周年事業の実施に伴いＫＩＦＡ基金の一部取崩しが行われるため、例年とは異なった収支となります。

効率的な組織づくり

《組織・会議について》

組織については、大きな変化が1998年から99年度にかけてありました。それまでは４部会（広報・研修・交流・派遣）だったものが、組織効率の面から派遣部会を廃止し３部会になりました。そして派遣部会で行なわれていた事業は内容を一部変更のうえ、実行委員会で実施することになりました。

会議も同じ年に、ＫＩＦＡの日常的な運営を協議する企画総務委員会が廃止され、現在のように執行部と正副部会長の意見を広く集める運営委員会に変更されています。それまでの「運営委員会・理事会」は現在の理事会と同様の機能を果たしており、「理事会」に名称変更されて今日に至っています。（Ｐ28参照）

2007年10月の理事会（於・市役所）

《実行委員会制度について》

実行委員会は初期には、ＫＩＦＡ全体としての取り組みが必要とされる事業について、部会とは別に臨時的に立ち上げられるものでした。その典型的な例が97年度の「ＫＩＦＡ設立10周年記念実行委員会」です。99年度からは前述のように派遣部会廃止に伴い、海外派遣事業（現在の成人派遣および青少年ロングステイ）を実行委員会で実施するようになりました。

01年度から市民夏まつりへの積極的参加のため「夏祭り実行委員会」がスタートし、06年度まで続きました。しかし、実施効果が薄いとのことで07年度には中止になりました。

04年度には、それまで交流部会の担当であった「ＫＩＦＡパーティ」が、交流部会単独では負担が過大となり、また新鮮味を打ち出す趣旨から実行委員会に移行されました。

本年度は、「ＫＩＦＡ設立20周年事業（パーティと講演会、記念誌発行）」「青少年ロングステイ」「成人派遣」の３つが立ち上げられています。実行委員会の性格も、臨時的なものから常設的なものへと変化してきました。

《ボランティア派遣などについて》

執行部扱いの事業は、多岐にわたっていますが、「外国人ボランティア派遣」もその一つです。2001年度から、外国人ボランティアを交流や文化紹介の目的で派遣し、市内の幼稚園から高校、市民行事まで要請があれば広く応じています。

2006年度実績では４件14人を派遣しています。

一方、「日本語ボランティア学校派遣」もＫＩＦＡの重要な事業の一つです。03年度から外国人の児童生徒を対象に、日本語ボランティア講師を小中学校に派遣しています。2006年度の実績では、合計７人の児童生徒に対し、延べ８人の講師を派遣しました。

「通訳・翻訳ボランティア活動」では、日本語の不自由な外国人をアシストするため各国語の通訳や翻訳にあたっています。ＫＩＦＡにおけるこの活動の歴史は古く、1989年度には通訳ボランティアの一般募集が開始され、通訳ボランティア研修会も行われました。2006年度には、英語・中国語の通訳、英文･ハングルの和訳、中国語･ハングル･スペイン語文作成などに延べ14人が参加しています。

《他市の国際交流協会との連携、交流について》

ＫＩＦＡは1999年から東葛地区国際交流協会連絡協議会に加盟しています。この協議会は現在、柏・我孫子・流山・野田・鎌ケ谷の５市で構成され、年に３回ないし４回の協議会や情報交換会を実施しています。幹事は持ちまわり方式で、ＫＩＦＡは来年から幹事を務めることになっています。その他の近隣協会とも散発的ではありますが、交流を行なっています。（文責／副会長・長南勇）

《KIFA会員加入の状況》

年度	会員総数	個人（一般／学生･生徒）		家族	法人･団体
1989	532	488	（365／123）		44
1990	559	522	（406／116）		37
1991	519	483	（418／65）		36
1992	520	487	（436／51）	3	30
1993	524	484	（436／48）	6	34
1994	498	458	（415／43）	9	31
1995	455	414	（384／30）	9	32
1996	424	384	（365／19）	11	29
1997	425	379	（366／13）	9	37
1998	430	378	（369／９）	18	34
1999	430	381	（371／10）	16	33
2000	387	348	（338／10）	8	31
2001	366	330	（317／13）	9	27
2002	385	347	（336／11）	10	28
2003	334	297	（282／15）	12	25
2004	288	254	（247／７）	10	24
2005	297	267	（248／19）	8	22
2006	316	288	（262／26）	6	22
2007	322	294	（257／37）	6	22

※2007年度は７月13日現在。

2007年度　KIFA法人会員・団体会員の紹介

〈法人会員〉
東葛食品㈱
茂野製麺㈱
新和設備㈱
㈲岡田産業
皆川不動産㈲
㈱永井建設
那須設計工務㈱
鎌ケ谷造園土木㈱
学校法人　一色学園
㈱千葉銀行鎌ケ谷支店
㈱鎌ケ谷梨ワインブランデー
㈱アメリカンランゲージスクール鎌ケ谷校

〈団体会員〉
鎌ケ谷市商工会
鎌ケ谷ライオンズクラブ
鎌ケ谷青年会議所
鎌ケ谷市自治会連合協議会
鎌ケ谷市庭園業組合
県立鎌ケ谷西高等学校
鎌ケ谷市小中学校長会
鎌ケ谷市体育協会
鎌ケ谷市スカウト連絡協議会
鎌ケ谷ロータリークラブ

交流部会、この10年のあゆみ

市民と外国人と、直接の交流機会を演出

交流部会は市民と外国人との交流の機会・場を提供することによって、協会の目的に合致する国際交流の成果を上げていこうと活動している部会です。

この10年間に実施した事業の多くは、それ以前から年間行事となっていたものですが、外国家庭料理講習会と青少年国際交流はこの10年間で生まれた新事業です。また、市民夏まつりへの参加とＫＩＦＡパーティは2004年度からは部会単独での取り組みをやめ、運営委員会の下に、実行委員会を結成してＫＩＦＡ全体で取り組むようになりました。こうした事業の消長・推移は、同一事業を長く続けることの難しさに加え、部会員の減少というお家事情も影響しています。以下、各事業別にこの10年間を振り返ってみたいと思います。

《歴代の交流部会長》

1988年＊藤谷　淳子	1998年＊石関　博康
1991年＊佐々木　翠	2000年＊荻　裕
1992年＊竹内　明	2002年＊根岸　孝子
1995年＊石関　澄子	2004年＊鈴木　浩
1997年＊冨澤　一隆	2007年＊高坂　忠雄

2006年・ＫＩＦＡパーティ会場

〈ＫＩＦＡパーティ〉

●部会最大イベントとしてノウハウ蓄積

前述のように2004年からはＫＩＦＡ全体で実行委員会を組織して取り組むようになりましたが、それまでは交流部会が年間の最大のイベントとして計画・実施していたものです。

立食パーティを中心とし、パーティ会場の一部に、各国の展示ブースとＫＩＦＡの活動状況の展示コーナーを設け、ステージあるいはフロアでは音楽演奏や踊り、その他のパフォーマンスを楽しんでいただくという形式を基本としました。賑やかな交流の場であり、ＫＩＦＡの秋祭りともいえるものです。

多彩な内容であるため、準備にも当日の運営にも沢山のスタッフが必要となります。部会長を中心に部会員全員が分担して取り組み、交流部会はＫＩＦＡパーティを成功させるために常設されている組織なのだというぐらいの意識でした。実際、常設組織であるがゆえの大きな利点として、実施結果の反省がその時だけに終わらずに次回に確実に反映され、ノウハウが蓄積されていきました。準備も効率よく進むようになっていましたので、部会員が次第に減少しても続けることが出来たのですが、とうとう当日要員にも不足する状況になってきて、他部会の手も借りないと実行不可能となり、実行委員会に委ねることになりました。

また、この時期に合わせて、パーティでの飲食問題が議論となりました。どこの国でも親しい付き合いは飲食を共にすることが重要な要素です。また適度のアルコール飲料は胸襟を開かせてくれます。初めての出会いも多いＫＩＦＡパーティでは、コミュニケーション・ツールとしても飲食を基本におくのが良いというのが交流部会の考えでした。これに対して、市の公共の施設内での飲食、特にアルコール飲料は良くないとする考えがあり、社会的状況の推移も考慮し、実行委員会に移ってからはこちらの考えで実行されています。

〈バスツアー〉

●日本の文化、歴史遺産を外国人と見聞

交流部会にとってＫＩＦＡパーティに次ぐ大きな事業です。外国人に見聞してほしい特徴のある場所を選定し、市民と一緒に日帰りバス旅行を楽しんでいただくと共に、相互に交流を深めてほしいというのが、この事業の狙いです。従って現地の見聞だけでなく、車中でも楽しいゲームなどを通して、盛り上がっていただいて、気持の交流

交流部会この10年、主な事業内容

◆ＫＩＦＡパーティ（　）内は外国人参加者数＝以下同

1998〈第11回〉＝270人（83）	2003〈第16回〉＝205人（49）
1999〈第12回〉＝348人（114）	2004〈第17回〉＝250人（35）
2000〈第13回〉＝266人（86）	2005〈第18回〉＝214人（30）
2001〈第14回〉＝321人（80）	2006〈第19回〉＝225人（34）
2002〈第15回〉＝260人（63）	

＊2004年から、運営主体が実行委員会に移管。

◆バスツアー

1998・５・24＝53人（24）笠間・益子・水戸
1999・５・23＝54人（24）南房総・海ほたる
2000・５・28＝88人（16）牛久シャトー・筑波山
2001・６・10＝92人（30）河口湖・勝沼ワイナリー
2002・７・14＝90人（25）茨城・偕楽園・西山荘・大洗
2003・７・６＝45人（14）古都鎌倉
2004・９・26＝86人（22）箱根
2005・９・25＝43人（16）千葉・佐原の街並み
2006・10・１＝98人（30）栃木・足利学校・ばんな寺
2007・９・２＝95人（47）世界遺産日光社寺・戦場ヶ原

2006年・栃木バスツアーでばんな寺

を図りたいと、この面でも準備をします。

もちろん、ツアーが安全に無理なく行えるため、担当グループによる下見は欠かせません。こうしたしっかりした準備に支えられ、この事業も人気が高く、初めはバス１台だけでしたが、間もなく２台で実施するようになりました。ＫＩＦＡ新会員の獲得の機会にもなっています。

〈国別交流会〉

●出身国の外国人を囲み、異文化を学ぶ

特定の国を選定して、レクチャーやその国の出身者をかこんでの質疑応答を通して、その国の地理・歴史・文化などを学びながら交流を図ろうという企画です。鎌ケ谷市在住の外国人の状況（人数、連絡・対応力など）に左右されるため、成果も楽しさもまちまちでしたが８回程度実施することが出来ました。

〈外国家庭料理講習会〉

●外国人講師による「お国の味」紹介

食文化はお国ぶりを表す最も基本的な文化です。食材にも調理法にも味付けにも、その国ならでは特徴があって楽しく勉強になります。こうした意味で、この事業は市民を対象とし、外国の講師にその国のポピュラーな家庭料理を教わると共に、これを味わいながら、講師のコメントや質疑応答を中心に、ときには音楽を添えて、その国のことを知る楽しい企画です。調理実習という形式のため32人程度を限度とし、調理後の試食パーティには関係者も加わる形で運営してきました。

〈バーベキュー・パーティ（お花見）〉

●野外パーティと日本の伝統行事で歓談

バスツアーを５月に実施していた時代、夏の事業として企画したのが、市民の森キャンプ場を利用してのバーベキュー・パーティでした。バンド演奏やダンスも加えて楽しんでいただき、100人を越える参加者がありましたが、バスツアーが準備や費用の関係で夏にずれることになった関係で、バーベキューを日本文化の一つであるお花見と合わせて行うこととしました。しかし、開花予想の難しさや、年度替りの時期に重なるなどの問題があり、見直しが必要でしょう。

〈青少年国際交流〉

●ヤング会員拡充への試行錯誤

部会発足以来、意欲的に生き生きと活動してきたメンバーも次第に高齢化するなか、若手の部会員を増やさなければＫＩＦＡの将来はないという部会のディスカッションから生れた事業です。青少年を対象とする交流事業を行って、その参加者から若い部会員を増やしていこうという狙いでした。ごく僅かな若手部会員を中心に中高年メンバーがサポートして、何度か試みましたが部会員獲得という成果には結びつかず、試行錯誤に終わっていると言わざるを得ません。（文責／交流部会・吉川重清）

青少年の企画によるウォークラリー＆ランチパーティ

◆国別交流会

1998・６・７＝25人　ブラジルを聞こう
1998・10・18＝45人　KOREAを聞こう
1999・２・21＝30人　フィリピンを聞こう
1999・12・12＝52人　フィリピンと話そう
2000・12・３＝93人　中国を聞こう　中国を話そう
2001・12・２＝55人　タイＤＡＹ
2003・２・２＝40人　スリランカＤＡＹ
2007・７・22＝40人　アセアンを知る会（タイ、フィリピン、ベトナム）

◆バーベキュー＆お花見

1998・７・19＝50人　（17）市民の森
1999・７・18＝104人（34）市民の森
2000・７・16＝122人（49）市民の森
2001・９・16＝70人　市民の森
2002・９・29＝75人　市民の森
2003・４・６＝60人　貝柄山公園
2004・４・４＝41人　貝柄山公園
2005・４・３＝52人　貝柄山公園
2006・４・９＝60人（19）貝柄山公園
2007・４・８＝51人（12）貝柄山公園

◆青少年国際交流

2003・２・１＝60人、KIFA初の青少年国際交流パーティ
2004・６・27＝26人、ハイキング　千葉・養老渓谷
2005・６・19＝27人、ボウリング＆ランチパーティ
2007・６・30＝37人、ウォークラリー＆バーベキュー

◆外国家庭料理講習会（会場は南部公民館）

1998・２・15＝35人　ドイツ、バングラデッシュ
2000・１・30＝41人　ニュージーランド、ロシア、日本
2001・１・28＝44人　タイ、スペイン、バングラデシュ
2002・１・27＝53人　スリランカ、インドネシア、カナダ、韓国
2003・１・26＝47人　ドイツ、英国、メキシコ、日本
2004・１・25＝40人　イタリア、中国
2004・11・14＝41人　メキシコ、中国
2006・１・29＝23人　タイ、スウェーデン
2007・２・25＝41人　ペルー、フィリピン

研修部会、この10年のあゆみ

異文化理解へ語学講座と講演会など

語学講座開講式

キッズ英会話

好評の英会話サロン

語学講座閉講式

研修部会は設立以来、鎌ケ谷市民を対象に外国語学習講座の開設と文化講演会・イベントの開催を主体事業としてきました。これらの事業を通じて市民の国際交流活動への理解と参加を呼びかけております。この機会に簡単に当部会の10年間の動きを整理してみます。

1．外国語講座

(1) 講座内容の変化

外国語講座は市民に可能な限り安い料金で質の高い外国語会話学習をしていただくことを第一に考えてスタートしました。

KIFA設立から現在までの
《外国語研修講座と講師陣》

【英語】English

◆1988年に３講座で開講し、90～94年には５講座まで増えました。96～2002年の７年間は３講座体制が続き、2003年からは２講座となり、現在に至っています。また、2002年に５回の短期でスタートした子ども英会話「スマイリーキッズ」は06年から年22回に成長しています。

☆ジョン・ウィリアム☆ジャネット平野☆木村エリザベス☆大友スーザン☆スティーブ・バーグ☆エモリー・クレスタ☆興津圭子☆佐藤肇☆坂田佳枝☆ロバート・メイスン☆ゲイール小川☆増田千佳☆美谷ロビン☆ハイディ・バーグラフ☆ササニエル・ロブソン☆キャッシー・オーマン☆エアレン・ゴールドウォーター☆ロドニー･ゴンサルベス☆ロイスン・マギル☆ライアン・マッキノン☆キャサリン・ビッグス☆ジェシー・ナイカネン☆アリシア･ブランド☆**Ｄ・ヘネベリー☆Ｊ・チェネリー**

【中国語】Chinese

◆英語とともにＫＩＦＡ設立当初から講座があります。1989年の３講座が最多ですが、年によって変動があり、現在のように１講座になったのは94年からです。

☆船山貞五郎☆李耀☆金子夏美☆楊潔☆王麗潔☆馬杏元☆李恵敬☆許艶☆**范暁耘**

【スペイン語】Spanish

◆1992年に10回の短期講座を経て、94年から通年の講座に加わりました。それから2005年まで12年間開講。

☆アコスタゆかり☆クリスティーナ・ロペス☆ペーニャ・フリオ☆ラウル山田☆パトリシア岡田

【ハングル】Korean

◆韓流ブームで市民からの要望強く、2005年からスタートしました。☆**李賢貞**　　（☆太字の講師名は現役講師）

《歴代の研修部会長》

1988年＊岡本　靖子	1996年＊藤本　克代
1992年＊佐藤　　肇	2000年＊渡部　恭子
1994年＊富田　照子	2002年＊藤井　明恵
1995年＊村田　源吉	2004年＊波多野勝夫

英語会話を主体に、要望の多い中国語、スペイン語、ハングルなどでカリキュラムを編成してきています。1998年から2002年までは英語３講座（入門クラス・昼・夜２講座および中級クラス１講座）、中国語入門、スペイン語入門の５講座と60歳以上を対象とした短期コースの「フレンドリー英会話」や「フレンドリー中国語」を実施。このうち「フレンドリー」講座は年間10日コース、他の講座は年間30日コースで行っております。

小学生対象の英会話講座開設の要望が多くよせられるようになり、2002年からは「キッズ英会話」講座をスタートさせました。この「キッズ英会話」も年間５回から始め、毎年その回数を増やし2006年には年間22回開催と成人コースと同等の長期講座になっております。

(2) 講座の会場

教室としては市内公民館、コミュニティセンターを使用してきました。このため会場使用料が安くでき、受講者にとって利用しやすい受講料の講座が実現できております。教室会場の確保につきましては、鎌ケ谷市のご理解とご協力をいただいております。

(3) 講師

講師はネイティブスピーカーで市内在住の方を起用する基本方針でおりますが、講師対象者の不足から鎌ケ谷市のＡＬＴ（小中学校の英語補助教員）の活用および、市内英語学校からの講師派遣も加えております。

(4) 講座編成上の問題点

長年これらの講座を通じて語学を学習している市民からは中級、上級のコースの開設を望む声もあるのですが、会場確保、講師の選定等限られた条件の中での実現は難しく今後の検討課題となっております。

(5) 英会話サロンの開設

英会話上級者、中級者の要望に応える一つの試みとし

て、2006年より「英会話サロン」を開設しました。30人を３グループに分け、外国人ゲストを交え、お茶を飲みながら気楽に英会話を楽しもうという趣旨の催しです。

この「サロン」は好評で、当初年１回開催でしたが、2000年は２回開催となり、今後さらに回数を増やしてほしいとの要望が多く寄せられています。

グループに分かれてのフリートーキングに先立って、外国人ゲストの英語による５分間スピーチも行われます。自分の英語力（ヒアリング力やスピーチ力）を知りたい人は、この「英会話サロン」に参加されることをお勧めします。

２．文化講演会など

外国の気候・風土、生活習慣、諸制度および芸術・芸能を知ることは、国際理解のために必要です。研修部では毎年その年にふさわしいタイムリーな企画を講演会または「外国文化に親しむ会」の形で実施してきました。

(1) 講演会

今までお招きした講演者は多彩で第一線で活躍する作家、ニュースキャスター、大学教授、外交官、芸能人等がおり、その実施内容は文化講演会、コンサート、トークショー、民族芸能や外国映画の鑑賞会などです。2005年に行ったＮＨＫテレビで人気の「パックン・マックンの英語教室」は若い市民に好評でした。

また、2006年には文京学院大学助教授大島希巳江氏による講演と英語落語「日本の笑い・世界のユーモア」を開催し、講師の海外での落語講演に対する反応についての経験談と落語家はだしの高座に会場は笑いの連続でした。

これらの講演会は今まですべて無料で市民に提供してきております。

(2) 外国文化に親しむ会

この催しは、外国人をお招きして、その国の文化や生活習慣、芸能などについて知ることを目的としております。その形式は内容によって、ある時はゲストとの討論会であったり、コンサートであったり、芸術鑑賞会であったりで、その都度形を変えて行っております。

最近では日本在住の京劇役者の第一人者張紹成氏の講演と実演「京劇へのいざない」が2003年と2004年の２回にわたり行われ、鎌ケ谷市民の中に多くの京劇ファンを生み出しました。

研修部会では、国際交流活動を通じ市民の間に国際理解の輪を広げるための努力を、今後も続けてまいります。

（文責／研修部会長・波多野勝夫）

英語落語の大島希巳江師匠

「落語のABC」桂む雀と桂あさ吉

神崎愛さんのフルート

外国語に親しむ会でスペイン語のクリスティーナさん

ハワイアン・コンサート

《文化講演会・イベント・会話サロン》

1998年２月７日＊講演会「私が歩いた世界と日本」作家・辺見庸
1999年２月６日＊講演会「東は東、西は西」ニュースキャスター・若林正人
９月18日＊講演会「ボランティアとしての通訳ＡＢＣ」北島克巳
2000年１月23日＊コンサート「アジアを歌う」ソプラノ歌手・奥山由美
５月21日＊講演会「世界のトイレ事情と日本」西岡秀雄
2001年２月18日＊「落語のＡＢＣ」桂む雀、桂あさ吉
５月27日＊「ハワイアン・コンサート」ワイキキ・ドリーマーズ（語学講座開講式）
10月21日＊外国語に親しむ会／テーマ「母国の教育の話」
12月９日＊講演会「日本の常識・世界の非常識」元国連大使・波多野敬雄
2002年２月３月＊講演会「国際社会における日本文化」宮本信生（元チェコ大使）
＆「フルートコンサート」女優・神崎愛
10月20日＊外国文化に親しむ会「モンゴルの馬頭琴と古箏」頼玉龍、タラー
12月８日＊講演会「ロシア人に学ぶ小咄の作り方」エッセイスト・米原万里
2003年６月22日＊外国文化に親しむ会「京劇へのいざない」張紹成
12月７日＊映画鑑賞会「宋家の三姉妹」
2004年６月20日＊外国文化に親しむ会「京劇へのいざないⅡ」張紹成
10月31日＊外国文化に親しむ会「インドネシアの音楽とお話」
2005年９月４日＊トークショー「パックン・マックンの英語教室」
11月５日＊外国文化に親しむ会「韓国の生活文化を知る」李賢貞
2006年２月26日＊英会話サロン／テーマ「身近な暮らし」
10月29日＊講演と英語落語「日本の笑い・世界のユーモア」大島希巳江
12月10日＊英会話サロン／テーマ「私の故郷」
2007年２月17日＊英会話サロン／テーマ「自然・風習・地雷」
９月２日＊英会話サロン／テーマ「環境・教育・ボランティア」

日本語教室のボランティア活動

30カ国、延べ400人超す外国人に、正しい日本語を教える

日本語教室風景

校外学習で浅草へ

日本語教室ボランティア

青木佳子、安達政美、石川優子、井上直美、宇佐見英男、遠藤尚子、大森佳子、緒方堅吉、海津百合子、坂上久仁子、白木浩子、鷹野悦子、内藤桂子、中橋直子、橋田弘子、藤本克代、藤本貞子、村岡輝政、村田源吉、吉田憲一

1．日本語教室の成り立ち

ＫＩＦＡ日本語教室は、1992年鎌ケ谷市中央公民館で行われた「外国人のための日本語講座」を引き継いでスタートし、1994年にボランティアだけの教室（当時、年30回）となりました。組織的には研修部会に属し、以来、同公民館で、毎週火曜日の夜７時半から９時までの活動を継続しています。

今年度からは学習者の強い要望に応えて、日曜日の教室を朝10時半から12時まで開設しました。これまで学習者として教室を訪れた外国人の数は、延べ400人を上回り、その国籍は30カ国を超えました。

2．近隣他市とのつながり

1998年に近隣他市の日本語教室に呼びかけて、東葛地区日本語ボランティア・ネットワーク会議を立ち上げました。指導方法や問題点の情報交換のほか、研修会への相互参加などによってレベルアップを図ると共に親睦も深めています。

3．現在の教室

現在は50人ほどの外国人が学習者として登録しています。火曜日はレベル別に10グループ、日曜日は５グループに分かれ、「みんなの日本語」をテキストとして、日本語で日本語の勉強をしています。外国人学習者の熱い学習意欲に応えるために、21人のボランティアが一丸となって教室を支えています。

ボランティアの仕事は、外国人に日本語を教えるだけに留まりません。専門講師を招いて日本語ボランティア養成講座やレベルアップ研修会の開催、日本の文化や習慣を実際に体験する特別学習会、バスや電車を使っての校外学習会など、様々な活動をしています。たいへんな仕事ですが、得られる喜びは大きく、とてもやりがいがあります。

4．これからの教室

ＫＩＦＡ日本語教室は、外国人のために自分たちのできることで何か役に立つことをやりたい、というボランティアの熱意によって今まで維持されてきました。そして、着実に地域の外国人たちにその存在が知られてきているようです。

これからも同じ地域に住む外国人のために、隣人として私たちの出来ることを模索しながら、より良い教室作りを目指していきたいと思っています。ボランティアにご興味のある方は、ぜひＫＩＦＡ事務局までご連絡ください。

（文責／日本語教室代表・緒方堅吉）

ＫＩＦＡ日本語教室のあゆみ

年	代表（担当）者	校外学習会	レベルアップ研修会講師
1997	小栗淑子、上中範子		広瀬万里子、松本明子
1998	渡部恭子、藤本貞子、小栗淑子	日光	品川雅子、松本明子
1999	広田路恵、徳田葉子、渡部恭子	箱根	高柳和子
2000	遠藤尚子、三好玲子、小栗淑子	富士５合目	鶴尾能子（２回）
2001	藤本貞子、松岡昭男	養老渓谷	川端芳子
2002	青木佳子、舘岡理香、藤本貞子	野田・関宿	鶴尾能子
2003	松岡昭男、遠藤勝夫	房総・成田	鶴尾能子
2004	小栗淑子、安達政美	伊豆	鶴尾能子、河野俊之
2005	遠藤尚子、大森佳子	浅草	松本明子（３回）
2006	遠藤尚子、坂上久仁子	渋谷	北村弘明、松本明子
2007	緒方堅吉、宇佐見英男、坂上久仁子		品川雅子

※ＫＩＦＡ主催による「日本語ボランティア養成講座」は1994年にスタート。その後、1997、2002、2005年に同講座Ⅰ、1998、2003、2006年に同講座Ⅱが開催され、松本明子（全講座）、品川雅子（３回）、川端芳子（１回）の各先生が指導にあたりました。

日本語教室で勉強したい外国人のために

ＫＩＦＡ・日本語教室

□場　所・鎌ケ谷市中央公民館（新京成線初富駅そば）
□時　間・火曜教室（毎週火曜日）19：30～21：00
　　日曜教室（第2,4日曜日）10：30～12：00
□受講料・ＫＩＦＡ会員（火曜教室）1年40回・1000円
　　ＫＩＦＡ会員（日曜教室）1年20回・500円
　　非会員は1ターム10回・1000円
□連絡先・鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）事務局
□TEL047−445−1141（内550）平日9時～16時まで受付

ワカタネ定期派遣交流

高校生の夏休みロングステイ、一般市民参加の成人派遣

☆市の姉妹都市交流委員会に協力

鎌ケ谷市国際交流協会では、鎌ケ谷市・ニュージーランドワカタネの姉妹都市関係を姉妹都市交流委員会のメンバーとしてサポートするとともに、ワカタネへ隔年の成人派遣、毎年夏休みの青少年ロングステイ派遣を行っています。

成人派遣は単なる海外旅行ではなく、ニュージーランドと日本、相互の文化紹介やワカタネの一般家庭でのホームステイを取り入れたものとなっています。中高年の海外ロングステイなどが話題になっておりますが、成人派遣でのホームステイ体験は、観光だけでなく現地の方々と交流が味わえる絶好の機会となっています。

今秋は鎌ケ谷市・ワカタネ姉妹都市提携10周年記念式典も日程に組み込まれ、６人の成人派遣者が市長一行と共に式典に参加しました。

☆初の試み、鎌ケ谷高校と交換留学が実現

夏休みに行われる青少年ロングステイ派遣は、主に高校生以上の学生を対象に、約１カ月間ワカタネにホームステイをしながら、現地の高校に通う事業です。2002年から2007年までに29人の学生を派遣しております。派遣者は毎年ワカタネでの素晴らしい体験を通して、若き親善大使としての役割を立派に果たしています。

さらに今年は初めての試みとして、県立鎌ケ谷高校とトライデントハイスクールの生徒の交換留学を行っております。トライデント高校の申し出を受けて、当協会が鎌ケ谷高校にご協力をお願いして実現しました。夏休みを利用して、鎌ケ谷高校の二人の生徒がワカタネでホームステイをしながら学校生活を送り、９月から約３カ月の予定で、トライデントハイスクールの留学生がホームステイをしながら、鎌ケ谷高校に通学しています。

９月にはワカタネから同校の高校生19人が鎌ケ谷に一週間滞在し、鎌ケ谷高校と交流の機会をもちました。この交換留学は、これまで当協会が行ってきた市民レベルでの国際交流が基盤となって実現できたものと確信しております。学生は自分達に関わってくれた人々に対する尊敬と感謝の気持ちをしっかりと根付かせています。

☆多文化共生・青少年育成に努力

近年、多文化共生・国際化、英語教育などが叫ばれるなかで、当協会がこれらの事業を行うことは今後ますます重要となっていくと考えられます。設立20周年を迎え、市民、会員の皆様にこれまで以上に成人派遣、青少年ロングステイ派遣にご協力、ご参加をいただき、当協会が鎌ケ谷市の多文化共生、青少年の育成にも寄与できるよう一層努力していく考えです。（文責／副会長・平田真裕美）

ワカタネ・トライデント高校生と交流（左・ロングステイの高校生ら、右・成人派遣）

《派遣部会 1999年度から廃部》

部会長・1988 荒井茂行／1992 石川優子／1994 佐久間真由美／1997 佐藤キク

※1988年、高校生・大学生などの第１回青少年派遣から1997年まで、主としてニュージーランド・ワカタネとの派遣、交流事業を計画、実施した。1998年に規約改正にともない廃部になり、この役割は実行委員会に引き継がれた。

この10年・主な海外派遣交流日誌

（＊）は鎌ケ谷市主催の企画であり、K・I・F・Aは姉妹都市交流委員会に参加。

1998	5・25～6・1	中国研修の旅（天津、上海）・派遣部会員22人参加
	8・22～8・29	市内中学生選抜・姉妹都市ニュージーランド・ワカタネ派遣（＊）
	9・26～9・30	ワカタネ・トライデント高校生10人来鎌して、ホームステイ
2000	2・5～2・13	ワカタネへ30人の市民派遣団
	4・4	ワカタネから市民18人の訪問団。ウェルカムパーティ130人参加
	8・20～8・27	市内中学生ワカタネ派遣（＊）
2001	4・7～4・17	ワカタネの高校生をホームステイに迎える
	8・22～8・29	ワカタネ成人派遣（13人）
2002	7・19～8・14	青少年ワカタネ・ロングステイ派遣（大学生２、高校生５人）
2003	4・10～4・20	ワカタネ・トライデント高校生16人来鎌。ホストファミリー宅でホームステイ４月18日の歓迎会に市民130人参加。
	6・30～7・7	ワカタネ成人派遣（６人）。姉妹都市提携５周年記念の庭園竣工式に参加。
2005	7・28～8・24	青少年ワカタネ・ロングステイ派遣（大学生１、高校生8人）
2006	5・10～5・16	ワカタネ成人派遣（14人）
	7・28～8・24	青少年ワカタネ・ロングステイ派遣（高校生４人）
	9・23	ワカタネから市長夫婦はじめ20人来鎌
2007	7・27～8・23	青少年ワカタネ・ロングステイ派遣大学院生１、高校生５人
	9・20～9・26	ワカタネ・トライデント高校生19人来鎌、ホームステイ
	11・2～11・9	ワカタネ成人派遣（６人）。姉妹都市提携10周年記念行事に参加

鎌ケ谷国際交流協会（KIFA）

この20年間 活動の記録

PARTⅡ 1988～1997

❶

❷

1988（昭和63）年4月　KIFA発足1988年から

1988（昭和63）年度
初代会長に佐々木武二郎氏

☆４月18日：鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）発足。設立総会を開き、協会を設立（**写真❶**）。
☆５月15日：会員募集スタート。会費・一般1000円、学生500円、法人・団体１万円以上。
☆７月23日：臨時総会。会長・佐々木武二郎氏、副会長・秋山秀一氏。発足記念講演会「民間交流のすすめ」講師・橋本た寿奈さん（成田ユネスコ協会）。
☆８月６日：青少年（５人）および青少年指導者（２人）をヨーロッパ、アメリカ、カナダ派遣（31日まで）。
☆９月３日：語学研修講座開講。英語会話３講座、中国語会話２講座、受講生149人。
☆10月14日：現在会員数375人。
☆10月15日：「KIFA Plaza」創刊号発行。A４・８ページ、2000部。（1990年度から年４回発行）
☆12月11日：忘年会（KIFAパーティの前身）。市内在住外国人・留学生38人を交え、約120人。
☆1989年２月12日：国際交流講演会「思考と習慣の地域差」講師・西丸震哉氏。170人参加。
☆３月５日：世界の文化交流第１回「ヨルダン料理講習会」34人。講師・サミエル・アブエイタさん。

1989（昭和64・平成元）年度
通訳ボランティア一般募集

☆４月27日：語学研修講座開講。英語会話２講座、中国語会話１講座、受講生47人。
☆４月15日：通訳ボランティア一般募集開始。
☆４月22日：1989年度総会。
☆５月１日：ホームステイ・ホームビジット受け入れ家庭募集開始。
☆６月25日：アメリカ人高校生18人、ホームステイ（**写真❷**）受け入れ（29日まで）。ホストファミリー17家族。
☆７月13日：デンマーク少女合唱団21人、ホームステイ受け入れ（15日まで）。
☆７月30日：青少年海外派遣（８月16日まで）。アメリカ・カリフォルニア州（青少年７人、リーダー１人）。
☆９月２日：通訳ボランティア第１回研修会（10人）。
☆９月９日：語学講座開講式。国際交流講演会「日本の国際化と食文化」講師・バーバラ寺岡さん。
☆９月16日：４部会（広報、派遣、交流、研修部会）合同研修会と海外派遣者帰国報告会。
☆10月８日：世界の文化交流第２回「メキシコのお昼どき」講師・木村エリザベスさん。（35人）
☆11月23日：第２回KIFAパーティ。13カ国45人の外国人を含め、約160人が参加。
☆1990年２月25日：世界の文化交流第３回「韓国のお昼どき」講師・朴恵鮮さん。（36人）
☆３月11日：1989年度語学講座閉講式。

1990（平成2）年度
規約改正し運営委員会導入

☆４月21日：1990年度総会。運営委員会などの導入につき協会規約を改正する。
☆４月21日：国際交流講演会「ユニークな日本人」講師・グレゴリー・クラーク氏（上智大学教授）。122人。
☆５月20日：世界の文化交流第４回「スコットランドのお昼どき」講師・ハリエット・グラントさん、30人（**写真❸**）。
☆５月27日：通訳ボランティア登録者研修会（登録者22人、うち英語が16人）。
☆７月21日：第１回国際交流協会姉妹都市調査プロジェクト。チームメンバー15人。
☆７月24日：鎌ケ谷市市制施行20周年記念事業「ワールドフェアー＆バザール」部会、14人で発足。
☆７月25日：海外派遣者（青少年７人、リーダー１人）出発。８月11日の帰国まで、アメリカ・カリフォルニア

❸

❹

❺

10年間のあゆみ　1993（平成5）年5月

州にホームステイ。（９月30日：帰国報告会）

☆８月17日：1990年度語学研修講座受講生募集締め切り。応募者264人（会員74人）のうち、抽選で受講生180人を決定。９月９日：合同開講式。

☆８月25日：市民夏まつりフリーバザールに参加。新規会員17人加入、KIFAロゴ入りＴシャツ53着発売。

☆９月16日：世界の文化交流第5回「スペインへの誘い」講師・関哲行氏（流通経済大学助教授）。45人参加。

☆11月25日：第3回KIFAパーティ「ハートで語りあおう」をテーマに開催。12カ国約50人の外国人を含め170人が参加。

1991（平成3）年度
市制20周年記念フェアに参加

☆６月８日：1991年度総会。国際交流講演会「ことばと国際交流」講師・ＴＢＳアナウンサーの桝井論平氏。113人参加。

☆６月15日：語学講座開講式。参加者140人。

☆７月26日：海外派遣者出発（青少年７人、リーダー１人）。８月12日までの18日間、オーストラリア・シドニー近郊にホームステイ、英語研修など。

☆８月24日：KIFAのＰＲのため市民夏まつりバザールに出店。KIFAロゴ入りＴシャツ、ジャケットなど発売。

☆９月12日：世界の文化交流第6回「チャイを飲んだらインドが見えた」インド料理にふれる会。40人。

☆10月６日：鎌ケ谷市市制施行20周年記念事業「ワールドフェア＆バザール」に参加。講演会「アメリカと日本の家庭」講師・ダニエル・カール氏（**写真❹**）。「モンゴル国の紹介と体験談」八幡一三夫氏。

☆11月23日：第4回KIFAパーティ。新築された鎌ケ谷市総合福祉保健センターの６階会議室を使用した初のパーティ。在住外国人、留学生、一般市民、会員総勢156人参加。

☆1992年３月15日：語学講座閉講式。講演会「私のチベット」講師・ペマ・ギャルポ。参加者110人。

1992（平成4）年度
初の青少年ホームステイ派遣

☆５月15日：語学研修講座開講（**写真❺**）。応募者255人のうち受講生213人（会員140人、一般73人）決定。講座内訳・英語会話５講座（初級２、中級２、上級１）、中国語会話（初級１、中級１）、英語スポット講座（フリートーキング１）、スペイン語スポット講座（初級１）、日本語スポット講座（初級１）。

☆５月16日：1992年度総会。会長に佐々木武二郎氏（再任）、副会長に秋山秀一氏（同）、岡本靖子氏（新任）を選出。ジョイントコンサート・（歌）瀬川千里、赤坂忍（ピアノ）川中順子、星野静子。111人。

☆６月28日：世界の文化交流第7回「本場中国の味をご家庭で」講師・呉祥勇氏。33人。

☆７月16日：ユートレック国際交流センターを通してカナダの高校生のホームステイ受け入れ（４世帯）。

☆７月23日：新設の企画総務委員会、第１回会合。

☆７月29日：初のニュージーランド派遣。青少年７人、派遣リーダー１人、８月12日まで15日間、タウランガ市周辺にホームステイ。

☆８月22日：夏まつり参加。

☆11月７日：４部会合同交流会開催。各部会活動報告と各部会員紹介、懇親。

☆12月６日：第5回KIFAパーティ。テーマ「友だちの輪を広げよう」。参加者174人。

☆1993年２月27日：語学講座閉講式。修了証書授与のあとパーティ（英語劇、琴演奏など）。

1993（平成5）年度
お花見パーティで国際交流

☆４月４日：お花見パーティ。外国人との交流（行田公園）。

☆５月８日：語学講座開講式。受講生189人（会員106人、

❻

❼

❽

1993（平成5）年5月　　KIFA発足1988年から

一般83人）。講座内訳・英語会話５（初級２、中級２、上級１）、中国語会話１、日本語講座１

☆５月15日：1994年度総会。４部会合同交流会。

☆７月16日：ユートレック国際交流センターを通してカナダ、ロシアの青少年のホームステイ受け入れ。４世帯で、８月１日まで。

☆８月４日：後に姉妹都市になるニュージーランド・ワカタネ周辺に海外派遣。８月18日まで15日間で、参加者は青少年７人、リーダー１人。

☆８月28日：市民夏まつりで外国人交流ミニパーティ。

☆９月10日：「日本語教授ボランティア養成講座」（主催・県国際交流協会）に市内から16人の受講生参加。

☆９月26日：世界文化交流第８回「南米ペルーの山海の味をご家庭に」講師・オクハマ夫妻。30人参加。

☆10月16日：臨時総会。協会規約の一部を改正し、会費の値上げを承認。個人会員年額1000円を2000円に、学生・生徒500円を1000円に。

☆11月23日：第６回KIFAパーティ。テーマは「お国自慢」。外国人13カ国75人を含め290人参加。

☆1994年２月19日：第10回「まちづくりシンポジウム」市民講演会（市地域振興課、公民館共催）。基調講演・フランスワーズ・モレシャンさん。450人。**（写真❻）**

1994（平成6）年度
ワカタネへ第1回成人派遣17人

☆４月３日：お花見パーティ（市制記念公園）

☆４月11日：姉妹都市候補地ワカタネから２学生、鎌ケ谷でホームステイ（５月23日まで）。

☆５月７日：語学研修講座開講式。受講生218人（会員115人、一般103人）。講座内訳・英語会話５（初級２、中級３）、中国語会話１、スペイン語会話１、日本語講座１（外国人対象）。

☆６月５日：1994年度総会。

☆６月18日：通訳ボランティア「はとバス体験ツアー」東京見学、参加者13人。

☆６月19日：世界文化交流第９回「アメリカの菓子とオーストラリアの家庭料理」。

☆７月24日：韓国をはじめ外国人留学生とバーベキューパーティ（９か国50人参加。市民の森）。

☆８月27日：市民夏まつりでミニパーティ。

☆10月４日：ニュージーランド・ワカタネへ初めての成人派遣（17人、平均年齢58歳。10月11日まで）。

☆10月16日：外国人との交流で佐倉歴史民俗博物館見学。外国人27人参加。

☆11月27日：第７回KIFAパーティ。テーマ「お国自慢」。外国人18カ国59人を含む260人参加。**（写真❼）**

☆1995年２月19日：世界文化交流第10回「日本の伝統文化・生け花、習字、着物を体験」。

☆２月25日：語学講座閉講式。記念講演・梅崎早苗さん（テレビ朝日ディレクター）。

1995（平成7）年度
荒井茂行新会長・新執行部発足

☆４月13日：チェコのフランチシェク・ハーバ女声室内合唱団歓迎パーティ。125人。

☆５月14日：1995年度総会。会長に荒井茂行、副会長に岡本靖子、竹内明、会計に田澤進二郎、菅原正巳の各氏が就任。新執行部スタート。

☆５月14日：語学研修講座開講式。受講生162人（会員92人、一般70人）。講座内訳・英語会話４（初級２、中級２）、中国語会話１、スペイン語会話１、日本語講座１（外国人対象）。アンデス地方の音楽の余興。

☆６月18日：第１回市民国際理解講座「アメリカ生活」通訳ボランティアによるパネルディスカッション。

☆８月27日：市民夏まつりでの交流広場。外国人22人。**（写真❽）**

☆９月18日：ニュージーランド・ワカタネ派遣写真パネル展示（25日まで市役所ロビーにて）

☆10月15日：ＫＩＦＡスポーツフェスティバル。参加者73人（鎌中体育館）。

10年間のあゆみ　1997（平成9）年11月

☆11月３日：馬頭琴とモンゴルの歌。音楽物語「スーホの白い馬」参加者200人。
☆11月12日：第３回市民国際理解講座「隣国から見た日本」市民３人によるパネルディスカッション。
☆11月26日：第８回KIFAパーティ。24カ国85人の外国人を含む280人参加。
☆1996年２月４日：文化交流・韓国学生を囲んで「韓国の歴史について」参加者32人。
☆２月４日：第４回市民国際理解講座「地球の反対側、ラテンの国々から見た日本」３人のパネラーの報告。
☆３月17日：通訳ボランティア研修会「NOと言い出しにくい日本人のために」講師・ギブソン松井佳子さん（神田外語大学教授）。
☆３月19日：ニュージーランド・ワカタネ成人派遣。（12人、26日まで）。

1996（平成8）年度
「七夕、クリスマス」日本語学習会

☆４月７日：お花見パーティ。外国人との交流、70人が参加。（写真❾）
☆５月11日：語学講座開講式。受講生137人（会員75人、一般62人）。講座内訳・英語会話３（初級２、中級１）、中国語会話１、スペイン語会話１、日本語講座１（外国人対象）。映画会「地球交響曲」。
☆５月12日：1996年度総会。
☆６月16日：外国家庭料理教室「中国、韓国、ルクセンブルグ」参加者54人。
☆７月14日：通訳ボランティア「気軽に英語を話そう」
☆７月16日：日本語クラス特別学習会「七夕学習会」
☆８月22日：市民夏まつりで交流広場開設。
☆９月５日：ワカタネ市長トニー・ボーン氏、来鎌（写真❿）
☆９月７日：語学講座間の交流会。
☆10月５日：アメリカ・オレゴン州の高校生のホームステイ受け入れ（97年１月30日まで）。
☆10月13日：スポーツフェスティバル。参加者97人。
☆11月９日：通訳ボランティア「インターネットで英語を学ぼう」
☆11月17日：第９回KIFAパーティ（外国人24か国90人を含めて380人）。（写真⓫）
☆12月17日：日本語クラス特別学習会「クリスマス」。
☆1997年２月９日：ワカタネ派遣者出発（リーダーは荒井茂行KIFA会長。この回はワカタネ派遣事業の集大成として、各団体代表と協会役員、計13人。２月15日帰国）。
☆２月23日：講演会「今、何故ボランティアか」中田武仁氏（国連ボランティア名誉大使）。

1997（平成9）年度（11月まで）
KIFA設立10周年記念号発行

☆５月18日：1997年度総会「KIFA設立10周年記念事業・姉妹都市提携調印式」（11月18日）準備スタート。
☆５月18日：語学研修講座開講式。受講生141人（会員90人、一般51人）。講座内訳・英語会話３（初級２、中級１）、中国語会話１、スペイン語会話１（各30回）。
☆５月24日：日本語ボランティア講師養成講座開講式（全10回）。
☆５月25日：鎌倉バスツアー「外国人との交流」50人。
☆８月２日：日本語ボランティア研修会（一般参加）「発声法とアクセント」講師・広瀬万里子さん。
☆８月23日：市民夏まつりに参加。姉妹都市ワカタネとニュージーランドのＰＲ活動。
☆８月26日：10周年記念事業「フレンドリー中国語教室」（鎌ケ谷市老人クラブ連合会共催）開始。全10回。
☆９月20日：ニュージーランド＆ワカタネ理解講座「魅力の国ニュージーランド」講師・ジョナサン・ウィリアム氏（ニュージーランド大使館広報官）。
☆10月18日：近隣市町日本語ボランティア交流会議。
☆11月７日：鎌ケ谷市国際交流協会10周年記念号・協会会報「KIFA Plaza」第31号発行。Ａ４版20ページ5000部。

執行部、現在と未来

新戦力の参加に期待

写真＝前列右から、酒井会長、平田副会長、定本会計、後列右から、長南副会長、高橋会計。

《執行部の役割》

執行部は三役、すなわち会長、副会長（２人）、会計（２人）で構成されており、各々の職務は協会規約（第７条）にある通りです。執行部そのものの役割はとくに規定されていませんが、三役が職務を遂行することで自ずと部門としての役割が果たせると思います。ただし、実際面から判断すれば執行部はＫＩＦＡの運営全般の統括をし、会務が適正かつ円滑に運営されるよう努めるということです。

《三役会について》

三役会も協会規約に規定はなく、執行部のみの会議を慣例的に「三役会会議」と称し、通常月１回、運営委員会（＊右表のアミのかかった14人が、そのメンバー）の１週間ないし10日前に開催します。ここで運営委員会での審議事項や報告事項の決定、執行部としての見解の統一などをしています。また、緊急の事態が発生した場合は、臨時に会議を開き対策を検討します。

《執行部が担当する業務》

担当業務は多岐に亙っていますが、便宜上３つに分類して示すと、次の通りです。

１）協会の運営に関する業務／◎会議（総会・理事会・運営委員会）の企画、運営　◎年度予算の編成、執行　◎行政との折衝、連携　◎協会規約改正の企画

２）対外的な業務／◎東葛地区および他地区国際交流協会との協力、交流　◎関連団体との協力、交流

３）部会単独実施では負担が過大、または全協会的なレベルで実施したほうがいい業務／◎実行委員会方式による事業推進　◎日本語講師の学校派遣など

《KIFAおよび執行部の課題》

執行部が、これからのＫＩＦＡ発展のための現在の課題として考えている主なものは、次の４点です。

①ボランティアの増加対策

ＫＩＦＡの活動の主体はボランティアが担っていることは周知の通りです。最近その人数が若干減少しております。本年度は、設立20周年記念事業実施に向けて例年より「仕事量」が増加しており、それに伴ない個人への負担も増えています。充実したボランティア活動をしていくため、早急に増員対策の必要があります。

②事業内容の魅力化

ＫＩＦＡは現在多くの事業を展開しています。事業立案には絶えず創意工夫を加え、マンネリ化は避けなければなりません。会員や一般市民が興味を持って積極的に参加する、魅力ある事業を展開していく必要があります。

③会員の増加対策

現在、300人を超す会員を擁しています。会員は協会存立の基盤であり、その存在は大きいものです。財政的にも事業からの収入、市からの補助金、会員からの会費が３本柱です。事業参加の人数や会費収入の増加のため、会員数をさらに増加させる必要があります。

④ボランティアの若年層増加対策

現在のボランティアの年齢層を見ると、男女ともに中高年令層が大半です。人生経験も豊かで、堅実に仕事はこなしますが、反面、過去の経験が足枷になっていることも考えられます。今後のＫＩＦＡが斬新な発想で事業を進めるには、やはり若い人たちの自由で、捉われない考え方が必要です。若い力の注入こそ、ＫＩＦＡが発展していくための原動力になるものと思います。

（文責／長南勇）

2007年度鎌ケ谷市国際交流協会役員名簿

役　職	役員氏名	所属団体	
会　長	酒井　哲郎	個人会員	
副会長	長南　勇	個人会員	
〃	平田真裕美	個人会員	
会　計	定本　典子	個人会員	
〃	高橋　修司	鎌ケ谷市商工会	
理　事	竹内　好子	鎌ケ谷市体育協会	
〃	平田真貴子	鎌ケ谷市スカウト連絡協議会	
〃	山口　純子	鎌ケ谷市子ども会育成会連絡協議会	
〃	川井　四郎	鎌ケ谷市芸術文化協会	
〃	山崎　巌	鎌ケ谷市自治会連絡協議会	
〃	佐藤　宗之	鎌ケ谷青年会議所	
〃	中島　立也	鎌ケ谷ロータリークラブ	
〃	石川　信行	鎌ケ谷ライオンズクラブ	
〃	太田　侑子	鎌ケ谷国際文化交流会	
〃	石川　隆一	千葉県立鎌ケ谷西高等学校長	
〃	渡辺　正	千葉県立鎌ケ谷高等学校長	
〃	杉田　良夫	鎌ケ谷市小中学校校長会(第二中校長)	
〃	渋谷　定重	鎌ケ谷市副市長	
〃	萩原　正二	鎌ケ谷市教育委員会　委員長	
〃	川西　八郎	鎌ケ谷市教育委員会　教育長	
〃	北村　眞一	鎌ケ谷市役所　市長公室長	
監　事	茂野　昭	法人会員　（茂野製麺㈱）	
〃	一色　雅男	鎌ケ谷ライオンズクラブ	
交流部会長	高坂　忠雄	副部会長	辰巳澄夫　中野　勲
研修部会長	波多野勝夫	副部会長	飯田文夫　緒方堅吉
広報委員長	林　幸治	副委員長	竹内雄二　鈴木貞夫

交流部会、現在と未来

魅力的な企画を創出し、外国人ネットワークを

私たち交流部会は年間を通じ、色々なイベントでＫＩＦＡ会員や市民とともに、市内、および近郊在住の外国人との交流を図るべく活動をしています。現在の主な活動は、「お花見バーベキューパーティ」「バス旅行」「青少年国際交流」「国別文化交流」「外国家庭料理講習会」の５事業を中心に、親善交流の場を作って来ました。

●広げたい協力の輪

部会員としてボランテイア活動をする人が、年々少なくなり、これ以上の事業を増やしたり、以前の事業を再開させるのはなかなか難しい事態になっています。従ってまず、私たちは現在の部員に加え一層、ボランテイアの増員を計らなければなりません。

そのためにはイベントに参加された人々で、われわれの活動に興味を持った人に声をかけ、できるだけ多くの参加協力者を集めていくことが考えられます。同時に、多くの外国人の参加や協力の輪を広げるため、県内外の大学の留学生グループと連携したり、外国人とのチャンネルつくりを進めていかなければなりません。

これからの事業も、基本的には今までのイベントを継続していくことになります。しかしマンネリにならないように工夫をしていくことも大切です。

●これからの改革

「定期的文化交流会」は、以前に行っていた「国別文化交流」を、今年からは「アセアンを知る会」**（写真）**として変化させました。今後は欧米、南米、中東、アフリカなどのより広い地域にひろげ、講師の派遣を大使館などに交渉したり、衣装、日常品、民芸品、楽器など展示品を借用したり、今までより質の高い文化を紹介する。またときには在住の外国人に対し、われわれ会員が日本の文化、習慣、伝統を伝え、理解してもらう「日本を知る会」のような企画も計画したい。

「外国家庭料理講習会」は前記の「定期的文化交流」との合体や、さらに範囲を広げて日常の家庭料理のほかに、お祭りやお祝いなどの特別料理やバラエティに富んだ企画にしていくことも考えられます。ときには特別料理講習として外国人プロにお願いし、本格的な異国料理講座なども検討していきます。

交流部会ボランティアのみなさん
（2007年11月18日現在）
〈前列左から〉**吉川重清、中野　勲（副部会長）、高坂忠雄（部会長）、辰巳澄夫（副部会長）**
〈後列左から〉**石関博康、星野幸也、木下健治、冨澤一隆、関矢忠良（広報委員会）、竹内雄二（広報委員会）、有田容子（会計）**
〈円内上から〉**村松　知、万代達夫**

「バス旅行」は働く外国人には、旅行の機会を提供し喜ばれているので、これまで通り継続していきます。行き先はできるだけリクエストに応えていきたい。箱根や鎌倉など過去に好評だった名所、歴史遺産へは再度、目的地にしても良いのではないか、あるいは近辺で、外国人に興味がありそうな穴場を探し紹介していきたい。

「青少年国際交流」は今後も継続していきたい事業です。これはＫＩＦＡ全体の問題でもあり、前会長時代から青少年の参加事業、若い世代の会員、ボランテイア育成が大きな課題になっています。ＫＩＦＡ総体の問題として、近郊の大学や高校などと連携し、魅力ある企画を立て、根気よく呼びかけていけば、実を結ぶ時期が来ると思います。

「その他の事業」として、①留学生との懇親やイベントへの共同参加②国内にあるアジアの国のお寺やモスク、外国人の専門店、大使館の訪問③在住外国人の故郷を訪問旅行する――なども考えたい。

外国人との交流やイベントを一過性で終わらせるのではなく、日常も継続して接触できるような場とか、ネットワークを作り、気軽に出かけられるサロンのような機関も用意したいものです。　（文責／高坂忠雄）

研修部会、現在と未来

鎌ケ谷を国際都市へ、交流の常設サロンを

写真＝前列右から、遠藤尚子、門川孝子、藤本克代、藤井明恵、後列右から、林幸治、飯田文夫、篠原正登士、波多野勝夫、緒方堅吉の研修部会員。

研修部会ボランティアのみなさん
（2007年11月18日現在）

部会長・波多野勝夫、副部会長・飯田文夫（英語Ａ）、副部会長・緒方堅吉（日本語教室代表）、安達政美（子ども英会話）、植松アネッテ、宇佐美英男、遠藤尚子、桶本栄（中国語、子ども英会話）、小河原大蔵、門川孝子、川端正征、篠原正登士、鈴木貞夫（広報委員会）、林　幸治（広報委員会）、藤井明恵（ハングル）、藤本克代（英語Ｂ）、松沢麻美、宮崎京子

●夢・研修部会の将来

今後の研修部会について語れば、まずその「研修部会」という呼称も変わるのではないかと思います。組織は時代に対応して形を変え、役割を変えてゆくものです。そのことから「研修部会」という名にとらわれないで将来の姿を考えると、２つの事業の実現が望まれます。

１．「ＫＩＦＡサロン計画」

鎌ケ谷市は現在計画されている成田新高速鉄道開通によってその性格が大きく変わり、多くの外国人が市内に住むようになることは十分考えられることです。そうなったときのＫＩＦＡの役割は自ずと変わります。

外国から来た新住民が快適な市民生活を送れるようにすることは市の重要な施策ですが、ＫＩＦＡもこれに協力することができます。その新住民たちが従来からの市民との交流する機会を作り、一刻も早く一般市民として共生していくことをお手伝いすることは重要な活動の一つとなります。

この方策の一つとして検討したいのは「国際交流サロン」または「ＫＩＦＡサロン」です。市の中心地にサロンを作り、市に在住する外国人はここを訪れ、会話を楽しみ、必要な情報やアドバイスが受けられる。日本人と外国人、外国人同士がひざを交えて懇談する。サロンでの懇談がきっかけになって色々な企画が生まれ、市の活性化が図れる。そんな「ＫＩＦＡサロン」の実現に努力したいと思います。

２．国際交流活動への青少年の参加

青少年のＫＩＦＡ事業への参加を目的としていろいろな試みがなされてきましたが、そのなかで小学生を対象にした「子ども英会話教室」や高校生を主体とした「青少年ロングステイ」はようやく軌道に乗り、ＫＩＦＡの事業として定着しつつあります。とくに青少年ロングステイが契機となり、鎌ケ谷市・ワカタネ姉妹都市の高校生交換留学が今年から始まりました。

青少年の国際交流活動参加の今後の進め方としては、ＫＩＦＡの単独事業ではなく、市内の小学校、中学校、高校との協力によって推進することが効果的であります。

学校教育の一環として、またはクラブ活動としてこれを行うことはどうでしょうか。今まで単発で行っていた「外国人ボランティア学校派遣事業」を発展させ、「学校内における国際交流思想の学生･生徒への普及」を学校側とＫＩＦＡが共同して企画・検討・実施してゆくことが望まれます。このためには教育委員会および校長会の理解と協力を得ることが必要です。

（文責／波多野勝夫）

【子ども英会話】（年20回）
①27人
②土曜日 9：30～12：20
③まなびぃ
④増田千佳

2007年度ＫＩＦＡ外国語講座（年30回）
＊①受講者数　②曜日・時間　③会場　④講師

【英語Ａ】
①26人
②火曜日13：00～14：30
③くぬぎ山コミュニティーセンター
④Ｄ・ヘネベリー（イギリス）

【英語Ｂ】
①26人
②木曜日19：30～21：00
③北中沢コミュニティーセンター
④Ｊ・チェネリー（イギリス）

【中国語】
①17人
②金曜日10：00～11：30
③南部公民館
④范暁耘（中国）

【ハングル】
①27人
②水曜日13：00～14：30
③中央公民館
④李賢貞（韓国）

広報委員会、この10年のあゆみ

活字広報の記録とホームページの速報と

◎創刊以来、Ａ４タブロイド

広報委員会の歩みを語ることは、「KIFA Plaza」編集・発行の歩みそのものを語ることに他なりません。

創刊以来、Ａ４のタブロイド版で一貫していますが、その年々の状況によって発行回数、ページ数、部数は変動があります。ちなみに2007年度は６月＝８頁・3500部、９月＝４頁・600部、11月＝32頁・1000部、３月＝４頁・3500部となっています。いま皆さんが手にしている本号「11月＝32頁」は、お分かりの通り「KIFA設立20周年記念号」です。通常は「10月＝８頁・3500部」です。

◎その時代を反映した記事の変化

ソフト面、つまり企画・編集内容もその時代を反映して、紙面にそれなりの特徴と変化が表われています。

1990年前後は、１面の写真を大きく扱い、ビジュアル面を強調した頁が目立ちます。とくに海外派遣事業リポートに力が入っていました。それが97年頃になると、文章が英文全盛で、見出し、記事に横文字が大活躍。また当時は、女性スタッフも大活躍の時代で、紙面にも繊細な手作りの雰囲気もよく出ています。

そして、「KIFA設立10周年記念号」以降は、下の欄の囲み記事のように「KIFA Plaza」は、それまでにまして詳しくＫＩＦＡの事業、イベントの報告や予告、ボランティアの動きや考えなどを詳細に伝えてきました。03年からの４年間は、部員の努力で年２回「かわら版」を出しました。

◎新ボランティアの新風を待望

広報部会を解消し、広報委員会がスタートしたのが1999年。スタッフは「各部会から選出された２人以上の部会員及び会員のなかから、希望する者をもって構成する」と規定されました。これが徹底遵守できれば、いいのですが、実際はそうも行かず、現在、広報委員会は人手不足に悩み、その解決策を模索しているところです。新風を吹かせて、広報委員会に活力をもたらせてくれる新しいボランティアの登場が待たれます。（文責／林幸治）

《歴代の広報委員長》

1988年＊加藤記久枝	1999年＊堀部　道子
1989年＊新宮　敏子	2000年＊木村　　浩
1990年＊太田常志美	2001年＊酒井　哲郎
1992年＊板津　　邦	2002年＊渡部　恭子
1994年＊岡野喜久江	2004年＊林　　幸治
1998年＊山崎　圭子	※1998年度までは広報部会長

◎ホームページのあゆみと現在

http://www.kifa.gr.jp このドメインで、鎌ケ谷市国際交流協会のインターネット・ホームページが世界に発信されたのは、1999年９月13日でした。交流部会の有志メンバーが中心になって、構想から１年の学習が実った日でした。その後、メンバーによるインターネット学習会など繰り返しながら、運営主体が広報委員会に移り、2002年の秋に全面刷新をし、現在に至っています。

ホームページは会員、市民や近隣住民のみなさんに国際交流活動の内容を分かりやすくお伝えするために、毎週１回の更新を心がけています。

主な内容は①外国人と市民が気軽に交流できるイベント活動の予定を掲載して会員、市民の皆さんに参加を呼びかける②国際交流ボランティア活動の様子を会員、市民や外国人に写真を中心に素早く伝えることで国際交流活動を身近な活動として理解してもらう③会員、市民の交流を促進し、新規会員増にも貢献できると考えています。（文責／鈴木貞夫）

主な特集で見る「KIFA Plaza」（1997年11月～2007年11月）

No.	発行年月日	内容（「　」内は掲載コピーのまま）
31号	(97･11･7)	鎌ケ谷市国際交流協会設立10周年記念
33号	(98･7･16)	「中国研修の旅・派遣部会」
34号	(98･10･19)	「鎌ケ谷市中学校・ワカタネ派遣者報告」
36号	(99･7･30)	1999年度からKIFA組織２部会１委員会制に
37号	(99･11･1)	「市民夏まつり"外国物産展"大盛況」
39号	(00･7･31)	「緑と陽光あふれるKIFA茨城バスの旅」
41号	(01･3･7)	「アジアの食文化をまなぶ･東部小５年」講師派遣
42号	(01･7･31)	「私も受けてみました。ホームステイ、語学講座」
44号	(02･3･5)	「日本語ボランティアの今」見開き大特集
47号	(03･3･3)	「親子で英語を楽しむ会」KIFA初の試み
48号	(03･8･4)	「京劇へのいざない」外国文化に親しむ会
49号	(04･3･5)	「家庭料理教室」イタリア、中国料理
50号	(04･7･20)	「50号記念特集･KIFAplazaに見る国際交流の歩み」
51号	(05･3･4)	「世界の食文化」中部小で餃子づくり
52号	(05･7･5)	青少年交流ボウリング＆ランチパーティ
53号	(06･3･7)	KIFAで学ぶ外国人「私は日本をこう思う」
54号	(06･7･18)	成人派遣・ワカタネリポート
55号	(07･3･7)	鎌ケ谷四中にKIFAから外国人10人派遣
56号	(07･6･25)	東葛地区４市「わが市の国際交流」
67号	(07･9･28)	世界遺産「日光バスツアー」
58号	(07･11･18)	鎌ケ谷市国際交流協会創設20周年記念号
かわら版	(03･10･30)	「市民祭りに参加　ミニ語学講座も」
かわら版	(03･12･20)	「2003年　KIFA　PARTY」特集
かわら版	(04･10･4)	バスツアー「箱根観光」
かわら版	(04･12･21)	KIFA　PARTY2004
かわら版	(05･10･7)	「パックン・マックン『鎌ケ谷でシャベラナイト』」
かわら版	(05･12･20)	「韓国流の生活文化を知ろう」
かわら版	(06･10･5)	ワカタネから訪問団
かわら版	(06･12･20)	文化講演「日本の笑い・世界のユーモア」

設立20周年記念講演会「テレビ・戦争報道の現場」

日時：2008年１月27日（日）13時～15時
会場：東部学習センター・レインボーホール
講師：遠藤盛章氏（国際ビデオジャーナリスト）
テーマ：「テレビ・戦争報道の現場」
内容：最近、ミャンマーで一人のジャーナリストが非業の死を遂げた。遠藤氏も1990年代からアフガン、イラクなどで過酷な取材を体験し、テレビのニュース報道番組の制作に携わってきた。講演会では、実際に放送した映像を見ながら、現代メディアが伝える「戦争と平和」について考える。ぜひ、ご来場を。

※広報誌・Web編集記者募集※

取材・原稿執筆・写真撮影・編集・パソコン。あなたの得意分野の一つを生かして、「KIFA Plaza」やホームページの制作にボランティア参加しませんか。お気軽に事務局までご連絡ください。

20周年記念号の編集構成について

この「KIFA設立20周年記念号」の編集構成について説明します。

特集企画「この20年間　活動の記録」はPART Ⅰ（1997年～2007年）とPART Ⅱ（1988年～1997年）に分けました。分岐点は1997年11月の「設立10周年記念式典」です。

PART Ⅱにあたる前半10年のことは、「10周年記念号」に詳しいので、今回は４ページに圧縮、PART Ⅰにあたる、式典後から現在までの「この10年」の諸活動を詳述しました。

また「執行部、各部会」の事業についてのリポートも、この10年間の諸活動にしぼって、部会活動をよく知る人に執筆を依頼しました。なお、岡本靖子顧問には監修をお願いしました。

最後になりましたが、関係各位のご協力にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。編集には、右欄の広報委員会のスタッフがあたりました。いずれも会員としての日が浅く、歴史に残すべき事項に気付かず見過ごしたものも多々あろうかと思います。読者、関係者の皆さんに、ご指摘いただければ幸いです。（文責・竹内雄二）

広報委員会・編集後記

☆創意工夫の気持ち新たに

KIFA活動に参加してまだ１年半の私ですが、今回、先輩諸氏の過去20年間の活動の記録を読んでみると、いろいろな努力・工夫を重ねてきたにもかかわらず、会員数、部会員の減少に直面していることがよく理解できました。会員数の減少に合わせて老齢化も大きな問題で、今後は若い世代の獲得が大きな課題になると思います。交流部会の一員として、広報委員会の一員として創意工夫をしていく気持ちを新たにしたところです。（関矢忠良）

☆インターネットの夢

自由時間を有効活用しようと、KIFA広報委員会に入会して３年が過ぎました。習いたてのデジカメ撮影、不慣れな原稿書きの修業中に、突然ホームページの編集担当を任命され勉強しながら１年余が過ぎてしまいました。20周年記念誌の発行にも携わることができて、広報活動の大切さを痛感しています。最近、「30周年記念には、インターネット環境で映像メッセージをアップする！」という夢を見ました。後継者を育成しながら、国際交流活動のいっそうの活性化に貢献したいと思っています。（鈴木貞夫）

☆ボランティア精神の真髄

「20周年記念誌」の編集に当たり、これまでの広報誌・総会記録を読んで一番、心に残ったことは、日本語教室のボランティアの皆さんの自主勉強会、講師を招いての研修会が多いことでした。近隣市の仲間とも提携し、新しい指導技術を身につけ、毎週、来日したばかりの多国籍の外国人たちに、根気よく正しい日本語を教える皆さんの、日ごろの研鑽ぶりは、ボランティア精神の真髄だと思います。（竹内雄二）

☆「30周年記念号」は？

たまたま「KIFA設立20周年」の時期にあたった広報委員として、何度も、関係資料や「KIFA Plaza」のバックナンバーも読み返しました。そこにはKIFA20年の歴史の積み重ねがあり、学ぶことが少なくありませんでした。まさに「温故知新」です。ただ私たちボランティアは古きにこだわるあまり、新しいアイデアや新人の意欲を消してはいけません。「温故消新」でなく「温故創新」といきたいものです。さて、10年後の「30周年記念号」は、どなたが、どのような編集をするのでしょうか。今から楽しみであります。（林幸治）

KIFA事務局です

鎌ケ谷市国際交流協会（KIFA）の事務局は、市役所庁舎の３階の奥にあります。事務局長は市の企画政策課の海老原正博課長、担当職員として同課の大田彩子さんが兼務をしています。

KIFA専従の事務局員として寺坂恵子さん（**写真左**）、三塚（みつか）敏子さん（**同右**）が入会手続きや会員、ボランティアとの連絡、会議準備の事務などを担当しています。土日を除いて午前９時から午後４時までは、市民および会員の皆様との応対体制になっています。市役所に来られた際は、気楽にお立ち寄りください。

問い合わせ先　〒273-0195　鎌ケ谷市初富928－744　鎌ケ谷市国際交流協会事務局　TEL445-1141内線550　FAX441-9400　メールkifa@apricot.ocn.ne.jp